

空家等実態調査・所有者の意向調査結果の概要

I 空家実態調査の概要と現地調査結果

1 実態調査の概要

① 調査目的

空家等の適正管理や利活用などのさまざまな施策を早期実現するため、空家等の実態を詳細に把握し、空家等対策計画作成の基礎資料とすることを目的とする。

② 調査の対象

市内全域（行政連絡区32地区）で実施

③ 調査期間

- ・事前調査：平成28年5月～9月
- ・現地調査：平成28年9月～平成29年1月
- ・意向調査：平成29年4月～5月

④ 調査の方法

・事前調査

各行政連絡区に空き家と考えられる建物の情報提供を依頼し、提供された所在情報に加え、市役所庁内関係部局で把握している空き家情報などをもとに調査リストを作成

・現地調査

事前に作成した調査判定表により、調査員が道路から外観目視等により調査を実施

・意向調査

現地調査により把握した建物の所有者調査を行い、その中から所有者が特定できた空き家の所有者等に対し、現状及び意向調査を郵送により実施

2 現地調査結果の概要

① 地区別空き家数

表1 空家等実態調査の地区別棟数・世帯数の割合

平成29年3月末現在
世帯数H29.3.1現在

地区名	空家等(棟) A	参考(世帯数) B	$\frac{A}{A+B}$		地区名	空家等(棟) A	参考(世帯数) B	$\frac{A}{A+B}$	
第一	170	2,786	6%		小田切	143	447	24%	
第二	259	5,330	5%		芋井	242	970	20%	
第三	173	3,547	5%		篠ノ井	617	16,600	4%	※
第四	68	1,345	5%		松代	605	6,974	8%	※
第五	78	2,413	3%		若穂	297	4,521	6%	※
芹田	276	12,721	2%		川中島	259	10,768	2%	
古牧	213	11,205	2%		更北	264	13,470	2%	
三輪	262	7,766	3%		七二会	200	751	21%	
吉田	180	7,168	2%		信更	262	926	22%	
古里	130	5,548	2%		豊野	133	3,691	3%	
柳原	47	2,788	2%		戸隠	388	1,507	20%	
浅川	209	2,828	7%	※	鬼無里	250	676	27%	
大豆島	85	4,941	2%		大岡	426	534	44%	
朝陽	137	6,174	2%		信州新町	550	1,937	22%	
若槻	265	8,202	3%		中条	414	868	32%	
長沼	65	910	7%		計	8,063	159,420	4.8%	
安茂里	396	9,108	4%						

※一部が中山間地域

中山間地域(13支所14地域): 浅川、小田切、芋井、信里、西条、豊栄、保科、七二会、信更、戸隠、鬼無里、大岡、信州新町、中条

- ・空き家数は、外観目視による調査により、空き家と思われる戸建て住宅のほか事業所、店舗等も含む棟数であり不動産物件として管理している住宅やアパートの空き住戸及び公営住宅は除きます。
- ・中山間地域(都市計画区域外)では、事業所等や共同住宅は少数であるため、空き家数は概ね戸建て住宅の数と考えられます。

② 不良度判定結果

空家等実態調査により、屋根や外壁の状態、建物の傾きなどから、不良度判定を実施

表2 不良度判定調査表

1. 評点基準

評定区分	評定項目	評定内容	不良度判定基準			
			評点	測定点	合計点	
I	敷地	①門の状況	(1) 正常又はなし (4.正常)	0	0	0
			(1) 正常又はなし (1.なし)	0		
			(2) 損傷あり	20		
			(3) 倒壊している	30		
	②塀の状況	(4) 確認不可	0			
		(1) 正常又はなし (4.正常)	0	0		
		(1) 正常又はなし (1.なし)	0			
		(2) 損傷あり	20			
	(3) 倒壊している	50				
③擁壁の状況	(4) 確認不可	0				
	(1) 正常又はなし (4.正常)	0	0			
	(1) 正常又はなし (1.なし)	0				
	(2) 損傷あり	50				
(3) 倒壊している	100					
II	建物	①屋根の状況	(4) 確認不可	0	0	
			(1) 正常	0		
			(2) 一部損傷あり	20		
			(3) 陥没あり	50		
		②外壁材の状況	(4) 確認不可	0		0
			(1) 正常	0		
	(2) 一部損傷あり		20			
	(3) 剥離または剥離あり		50			
	③建物の傾き	(4) 確認不可	0	0		
		(1) 正常	0			
		(2) 一部に傾きあり	100			
		(3) 全体に傾きあり	100			
	④種(とい)の状況	(4) 確認不可	0	0		
		(1) 正常 (4.正常)	0			
		(1) 正常 (1.なし)	0			
		(2) 破損あり	10			
	⑤窓ガラスの状況	(3) 大部分が破損	20	0		
		(4) 確認不可	0			
		(1) 正常 (4.正常)	0			
		(1) 正常 (1.なし)	0			
	⑥雨戸の状況	(2) 破損あり	20	0		
		(3) 大部分が破損	50			
		(4) 確認不可	0			
		(1) 正常 (4.正常)	0			
III	その他危険箇所	①カーポートの状況	(1) 正常 (4.正常)	0	0	
			(1) 正常 (1.なし)	0		
			(2) 破損あり	10		
			(3) 大部分が破損	30		
		②ベランダの状況	(4) 確認不可	0		0
			(1) 正常 (4.正常)	0		
			(1) 正常 (1.なし)	0		
			(2) 破損あり	10		
		③屋外階段の状況	(3) 大部分が破損	30		0
			(4) 確認不可	0		
			(1) 正常 (4.正常)	0		
			(1) 正常 (1.なし)	0		
	④看板の状況	(2) 破損あり	5	0		
		(3) 大部分が破損	10			
		(4) 確認不可	0			
		(1) 正常 (4.正常)	0			
	⑤物置の状況	(1) 正常 (1.なし)	0	0		
		(2) 破損あり	10			
		(3) 大部分が破損	20			
		(4) 確認不可	0			
	⑥アンテナの状況	(1) 正常 (4.正常)	0	0		
		(1) 正常 (1.なし)	0			
		(2) 破損あり	10			
		(3) 大部分が破損	20			
⑦灯油タンクの状況	(4) 確認不可	0	0			
	(1) 正常 (4.正常)	0				
	(1) 正常 (1.なし)	0				
	(2) 破損あり	5				
⑧エアコン室外機の状況	(3) 大部分が破損	10	0			
	(4) 確認不可	0				
	(1) 正常 (4.正常)	0				
	(1) 正常 (1.なし)	0				
⑨その他危険な構造物1の状況	(2) 破損あり	10	0			
	(3) 大部分が破損	20				
	(4) 確認不可	0				
	(1) 正常 (4.正常)	0				
⑩その他危険な構造物2の状況	(1) 正常 (1.なし)	0	0			
	(2) 破損あり	10				
	(3) 大部分が破損	20				
	(4) 確認不可	0				

2. 不良度判定

上記調査項目の合計により不良度ランクを判定する。

点数	判定内容	ランク
0点	管理に特段問題がなく、現況のまま利用可能	A
1~49点	管理が行き届いていないが、比較的小規模な修繕で利用可能	B
50~99点	倒壊の可能性はないが、現況のままの利用は困難	C
100点以上	倒壊の可能性があるので、現況のままの利用は不可能	D

不良度判定ランク

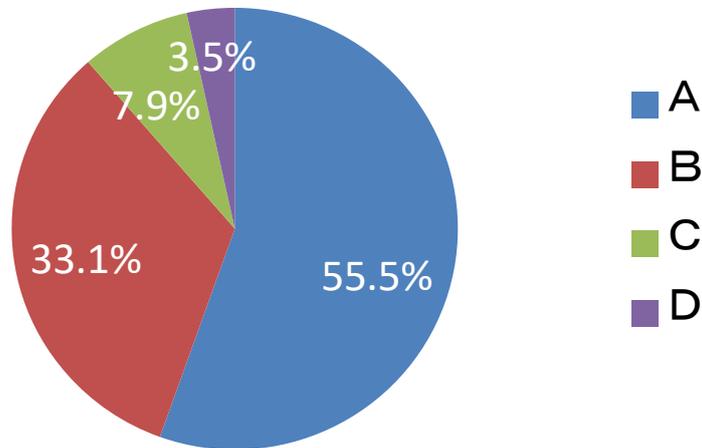
※「不良度判定調査表」は、国の住宅地区改良事業及び空き家再生等推進事業における住宅の不良度判定の際に参考にすることを目的して製作された『住宅の不良度の測定基準(木造住宅等)』(外観目視により判定できる項目)を参考として市が作成した。

・不良度判定結果（市内全域）

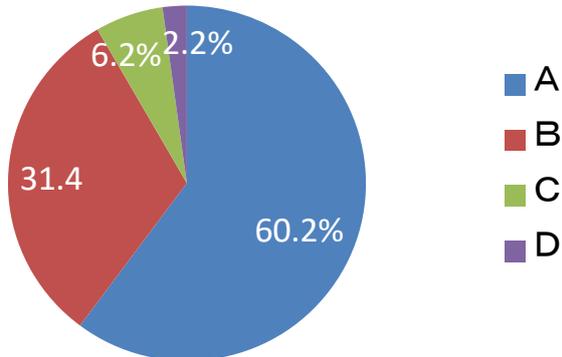
表3 不良度判定結果

判定内容	ランク	平地部	中山間部	市内合計	比率(%)
管理に特段問題がなく、 現状のまま利用可能	A	3,143	1,328	4,471	55.5%
管理が行き届いていないが、 比較的小規模な修繕で利用可能	B	1,642	1,031	2,673	33.2%
倒壊の可能性はないが、 現状のままの利用は困難	C	322	318	640	7.9%
倒壊の可能性はあるなど、 現状のままの利用は不可能	D	114	165	279	3.5%

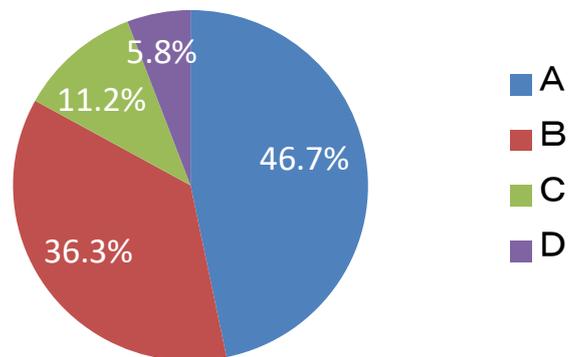
不良度判定(市内全域)



不良度判定(平地部)



不良度判定(中山間地域)



③ 市場性判定結果

空家等実態調査により、立地条件、建物条件及び市場性総合判定について調査を実施
市場性総合判定は、立地条件と建物条件のうち、最も低いランクを採用

表 4 市場性判定調査表

1. 評点基準

評定区分	評定項目	評定内容	評点	測定点	合計点	ランク	
①	立地条件	① エリア	(1) 市街化区域	-20			
			(2) 市街化調整区域・都市計画区域外	30			
		② 間口	(1) 広い(4m以上)	0			
			(2) 普通(2m~4m程度)	30			
			(3) 狭い(2m未満)	100			
		③ 前面道路の幅員	(1) 幅員4m以上	0			
			(2) 幅員2~4m (軽自動車通行可)	30			
			(3) 幅員2m未満 (軽自動車通行不可)	100			
		④ 道路との高低差	(1) 等高	0			
			(2) 敷地が高い1m未満	0			
			(3) 敷地が高い1m以上	10			
			(4) 敷地が低い1m未満	30			
			(5) 敷地が低い1m以上	50			
②	建物条件	① 不良度判定 (別紙「不良度判定表参照」)	(1) 不良度ランク A	0			
			(2) 不良度ランク B	30			
			(3) 不良度ランク C	100			
			(4) 不良度ランク D	150			
		② 駐車場スペース	(1) 2台分以上あり	-10			
			(2) 1台分あり	0			
			(3) なし	20			
			(4) 確認不可	0			
		③ 雑草・立木の状況	(1) 問題なし・確認不可	0			
			(2) やや繁茂	5			
			(3) 繁茂	20			
		④ ゴミの投棄、堆積の有無	(1) なし・確認不可	0			
			(2) 一部堆積あり	5			
(3) 大量に堆積あり	20						

2. ランク判定

① 立地条件

点数	判定内容	ランク
~39点	売却・賃貸が容易	A
40~99点	売却・賃貸の期待性あり	B
100~149点	売却・賃貸の期待性が低い	C
150点以上	売却・賃貸が困難	D

② 建物条件

点数	判定内容	ランク
~39点	売却・賃貸が容易	A
40~99点	売却・賃貸の期待性あり	B
100~149点	売却・賃貸の期待性が低い	C
150点以上	売却・賃貸が困難	D

総合ランク

※①~②で最も低いランクを採用

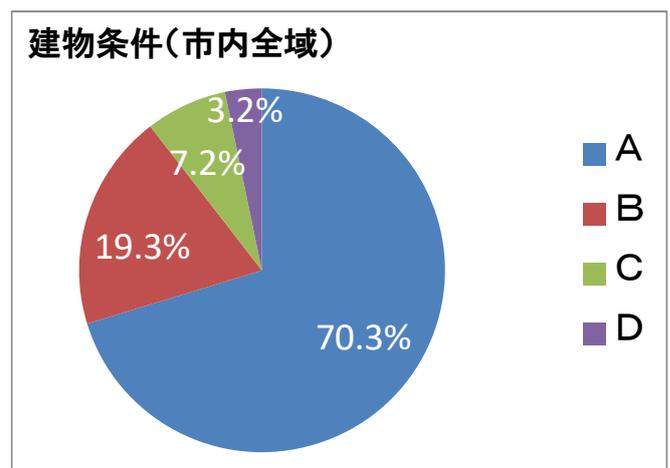
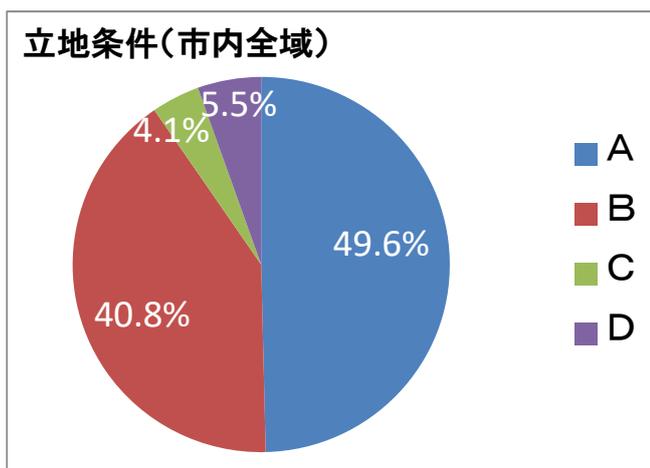
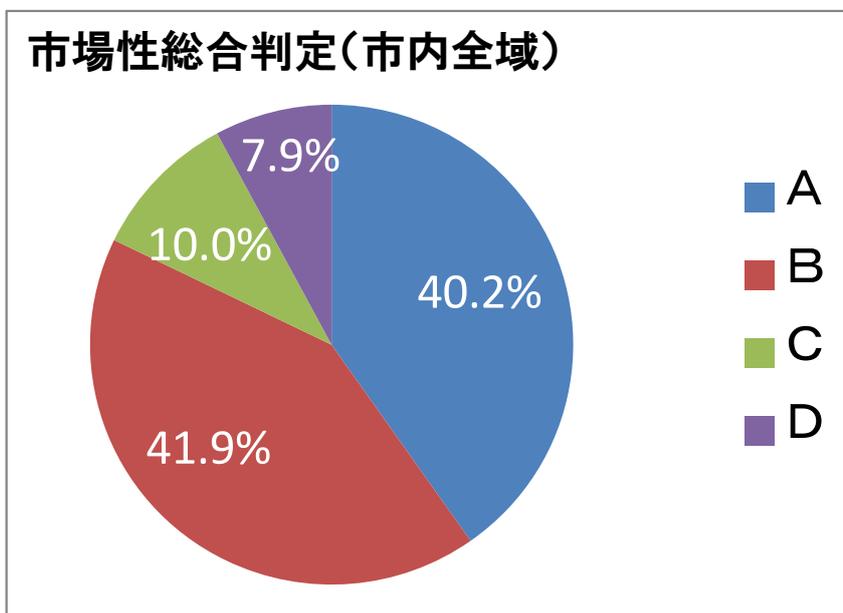
※ なお、この基準は外観調査及び地図等による調査の範囲内での判定であり、実際の売却等に際しては、
・所有形態（単独所有か共有か）、登記の有無、借地の有無（土地所有者との相違）、境界確認、実測の有無、
違法建築ではないか、建物の内覧等に関わる2次調査が必要となります。

・市場性判定結果（市内全域）

表5 市場性判定結果表（市内全域）

判定内容	ランク	立地条件	建物条件	市場性総合	比率(%)
売却賃貸が容易	A	3,663	5,665	3,245	40.2%
売却・賃貸の期待性あり	B	3,011	1,554	3,380	41.9%
売却・賃貸の期待性が低い	C	305	582	803	10.0%
売却・賃貸が困難	D	403	262	635	7.9%

※立地条件は、調査困難のため未調査箇所があり、この場合は市場性総合ランクは建物条件のランクとなる。

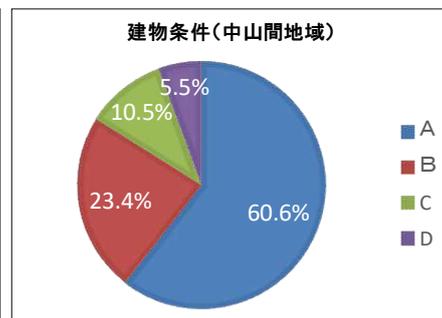
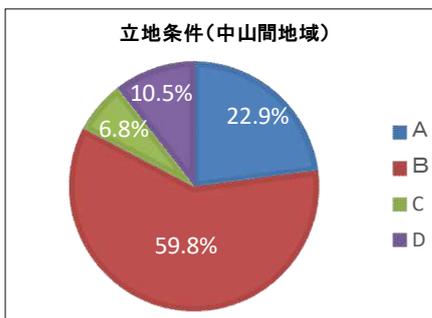
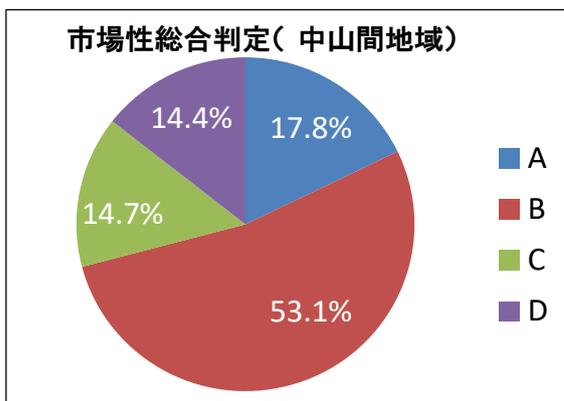


・市場性判定結果（中山間地域）

表 6 市場性判定結果（中山間地域）

判定内容	ランク	立地条件	建物条件	市場性総合	比率(%)
売却賃貸が容易	A	607	1,721	507	17.8%
売却・賃貸の期待性あり	B	1,582	666	1,508	53.1%
売却・賃貸の期待性が低い	C	179	298	417	14.7%
売却・賃貸が困難	D	279	157	410	14.4%

※立地条件は、調査困難のため未調査箇所があり、この場合は市場性総合ランクは建物条件のランクとなる。

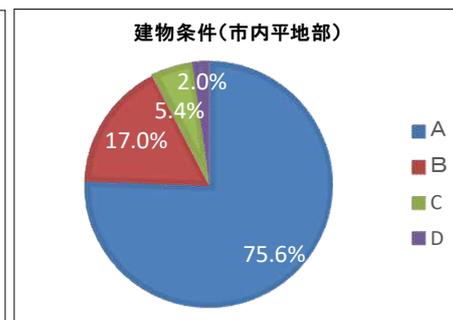
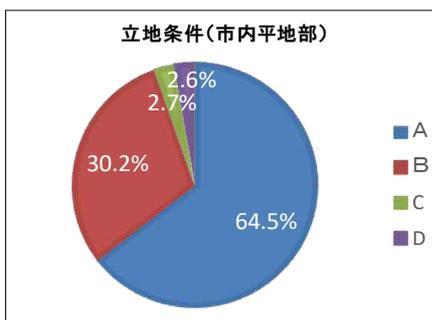
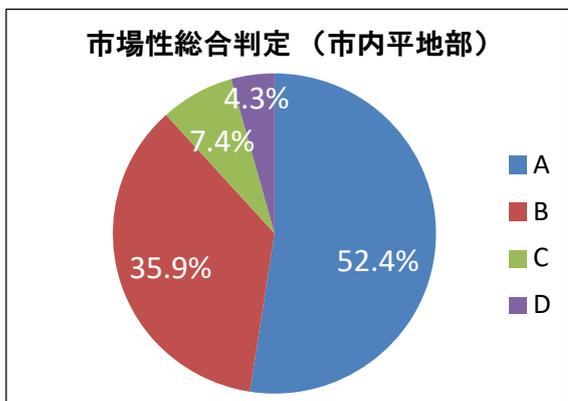


・市場性判定結果（市内平地部）

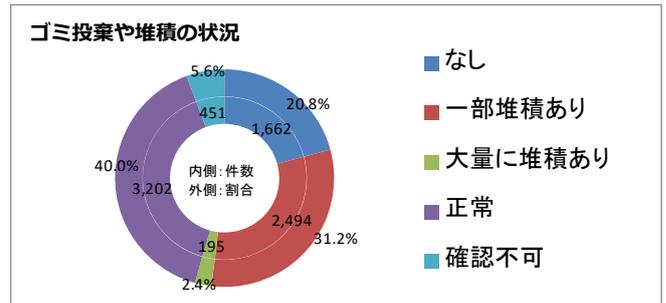
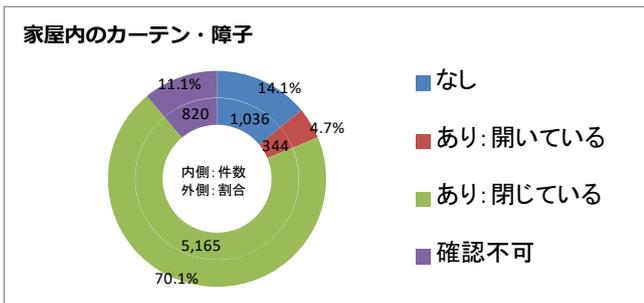
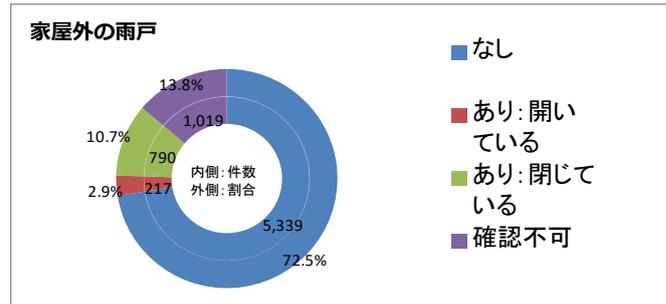
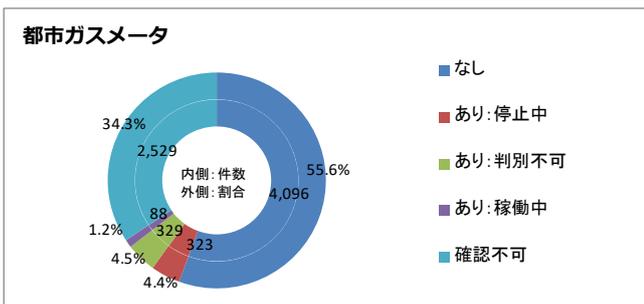
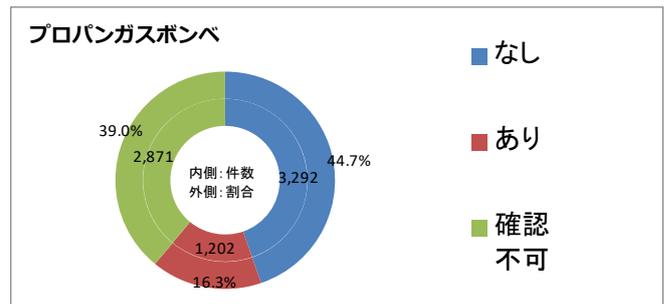
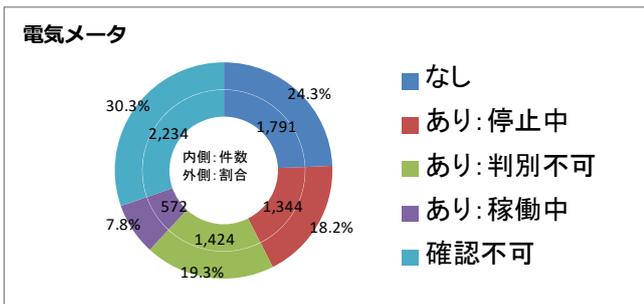
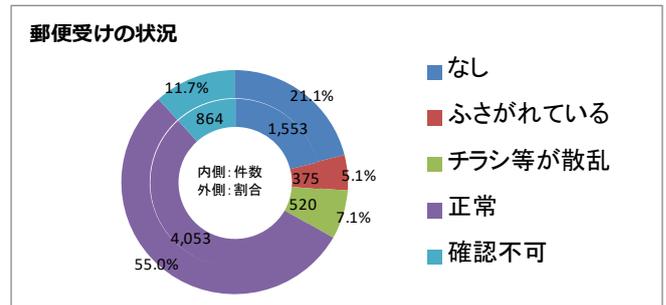
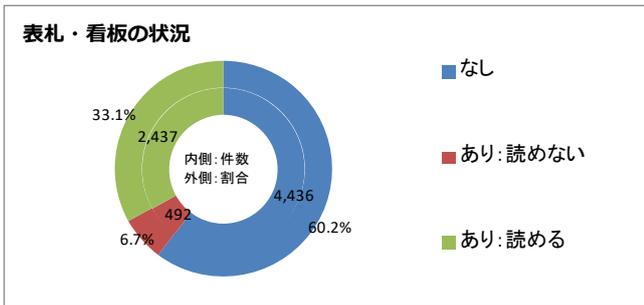
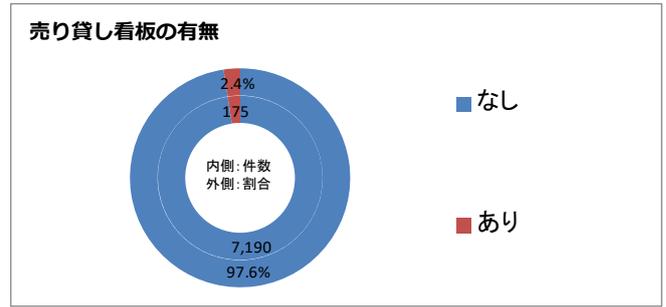
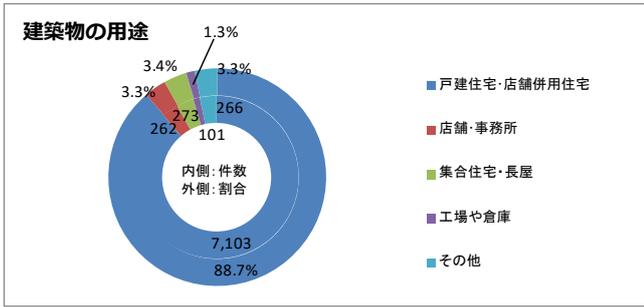
表 7 市場性判定結果（市内平地部）

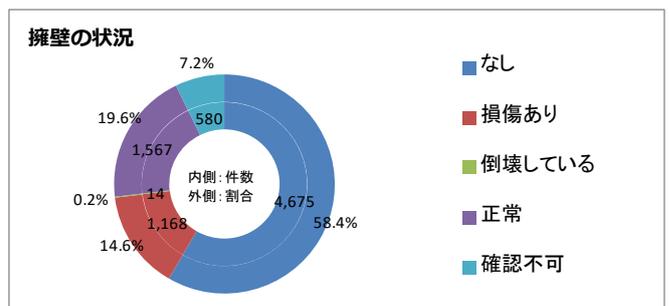
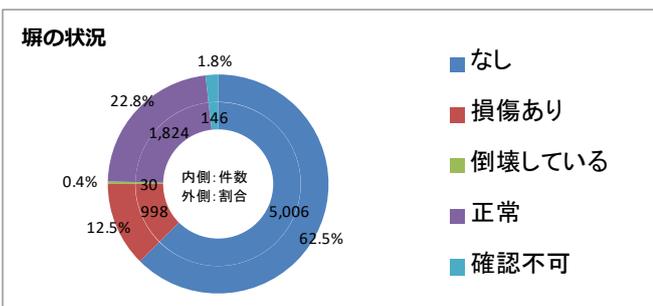
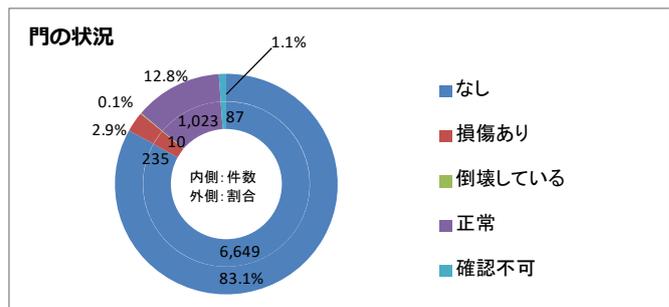
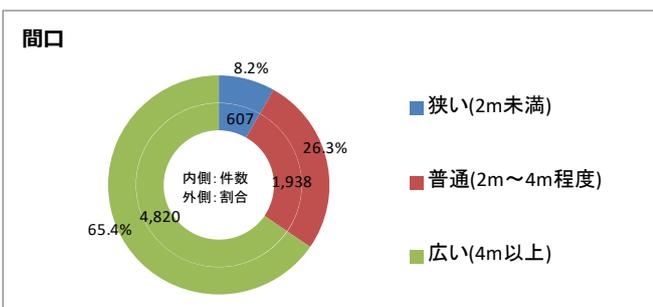
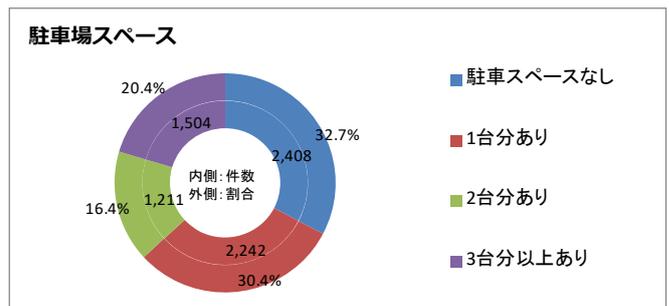
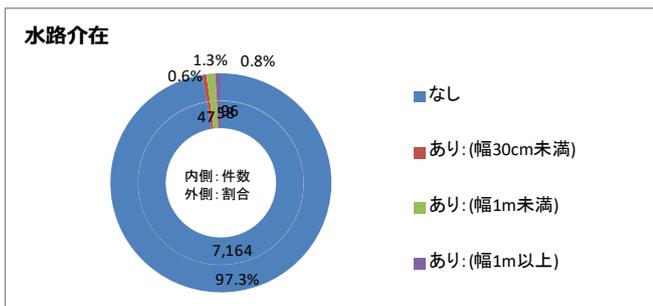
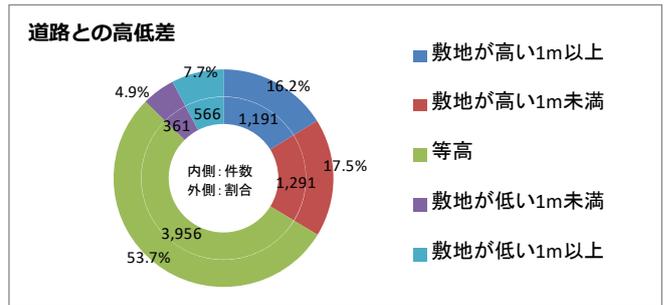
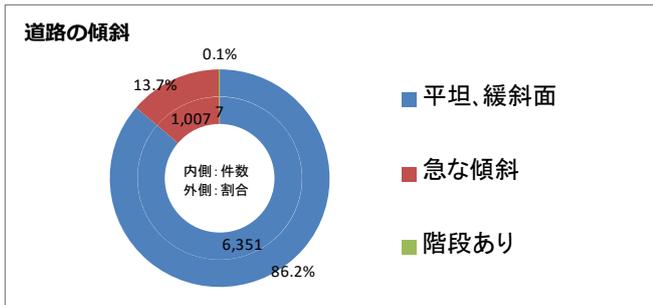
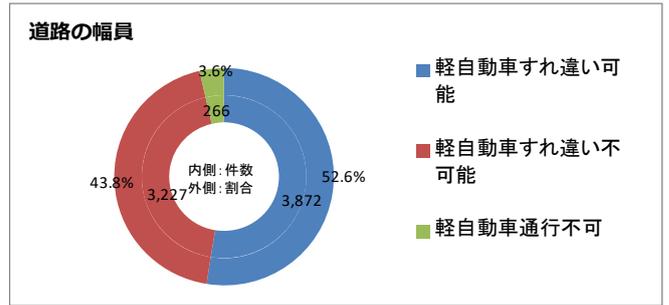
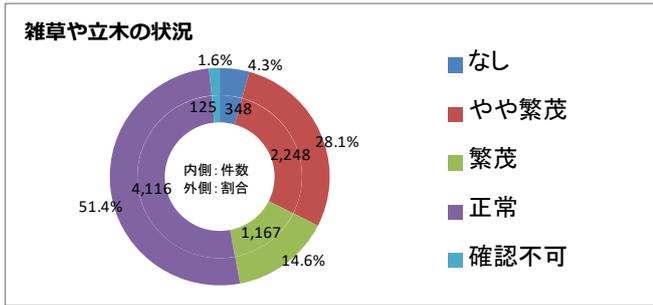
判定内容	ランク	立地条件	建物条件	市場性総合	比率(%)
売却賃貸が容易	A	3,056	3,944	2,738	52.4%
売却・賃貸の期待性あり	B	1,429	888	1,872	35.9%
売却・賃貸の期待性が低い	C	126	284	386	7.4%
売却・賃貸が困難	D	124	105	225	4.3%

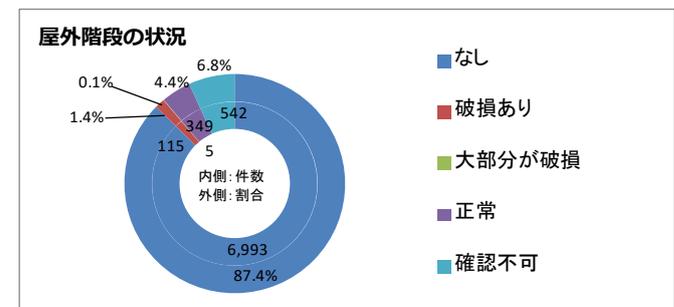
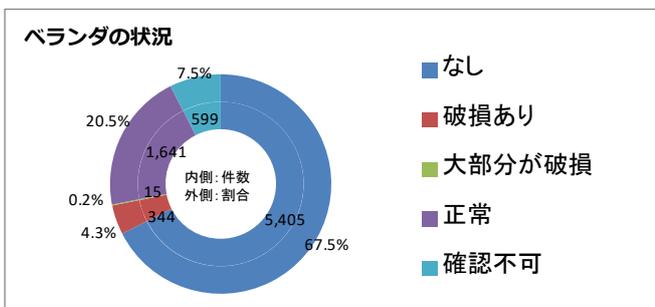
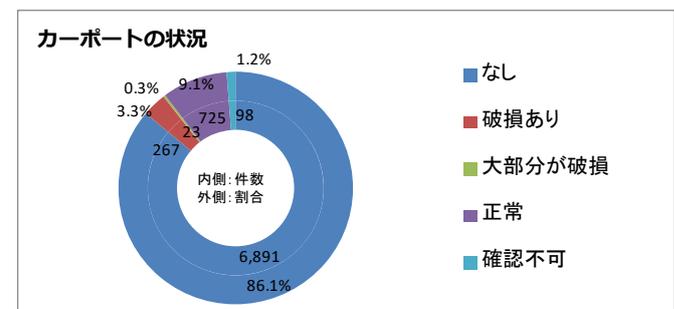
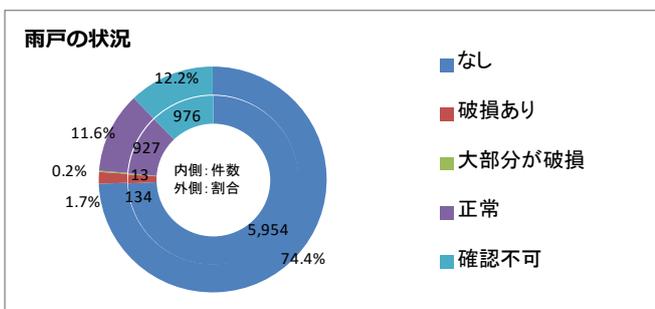
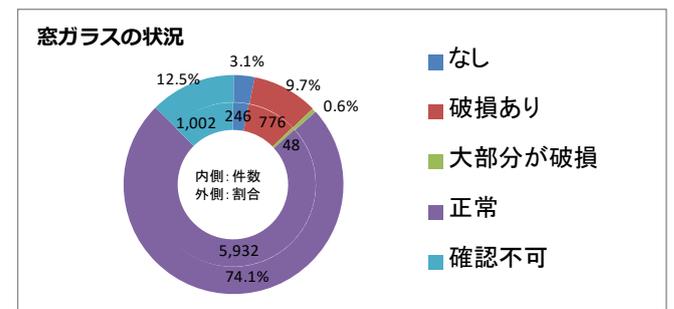
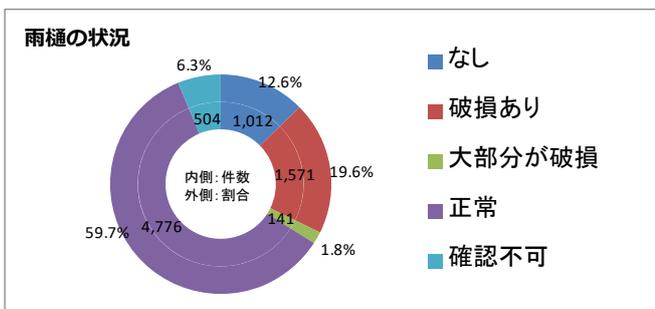
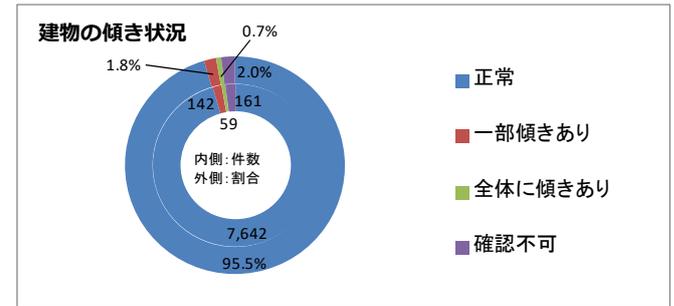
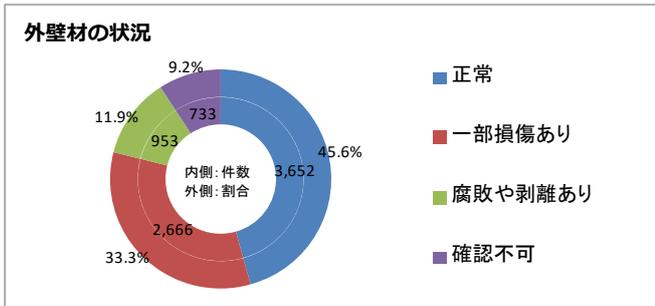
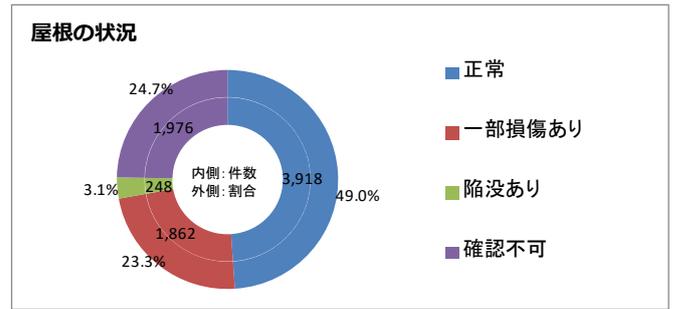
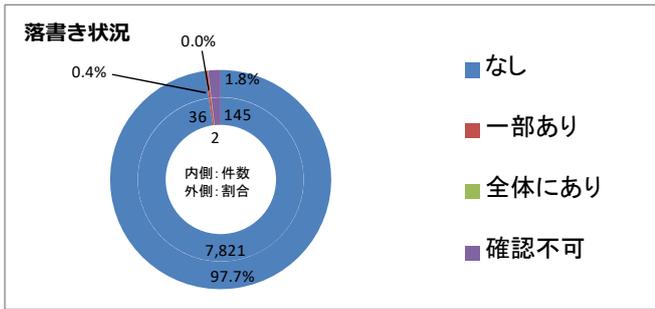
※立地条件は、調査困難のため未調査箇所があり、この場合は市場性総合ランクは建物条件のランクとなる。

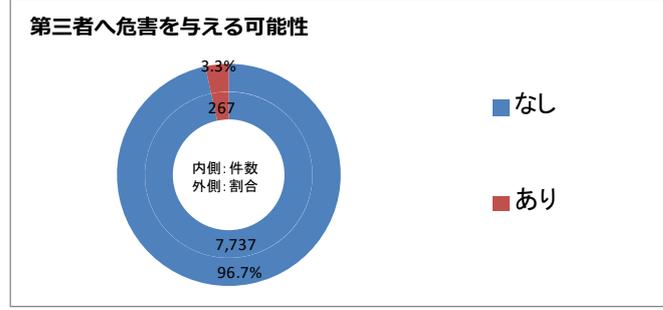
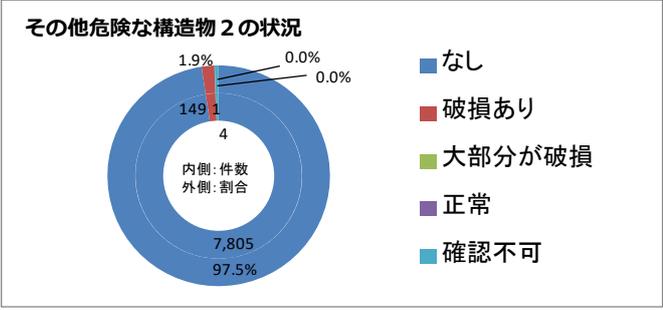
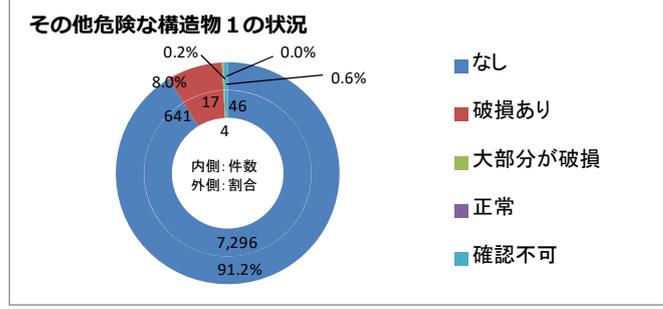
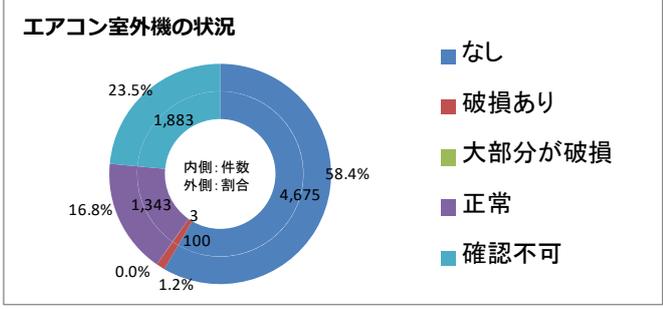
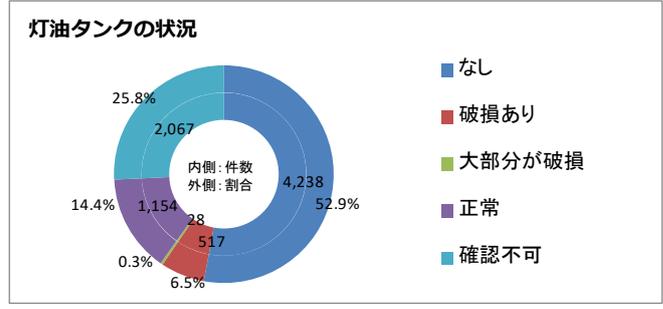
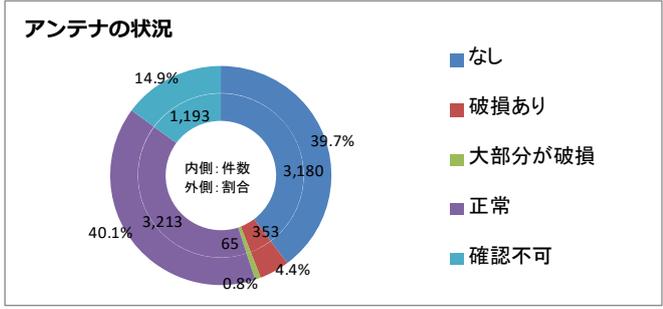
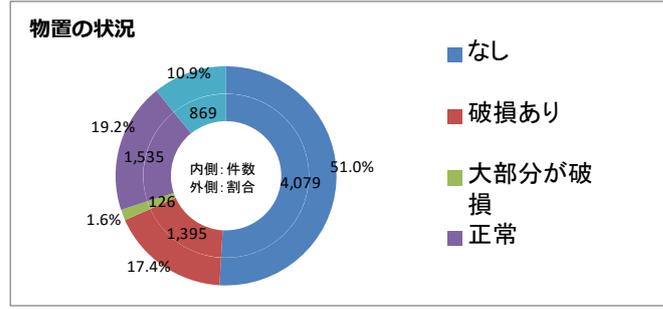
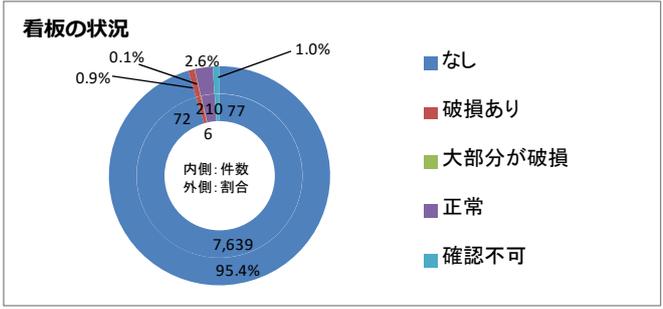


④ 現地調査結果（市内全域）





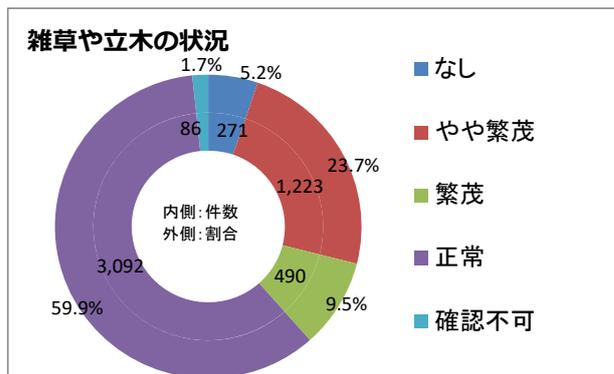
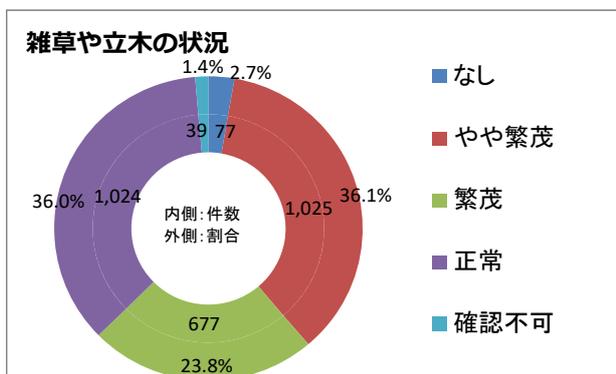
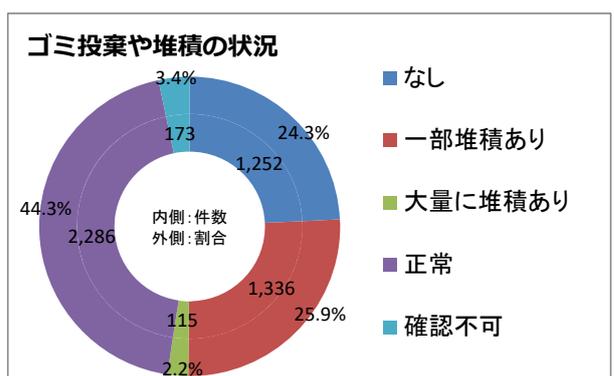
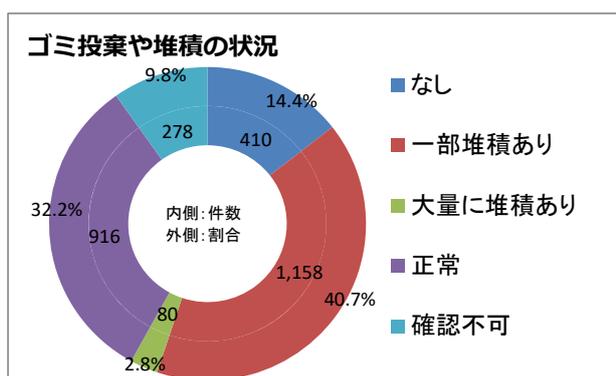
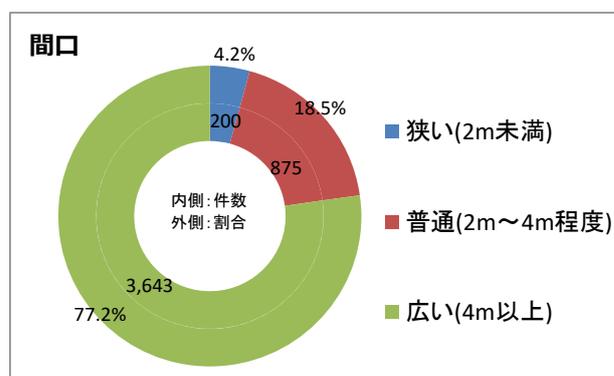
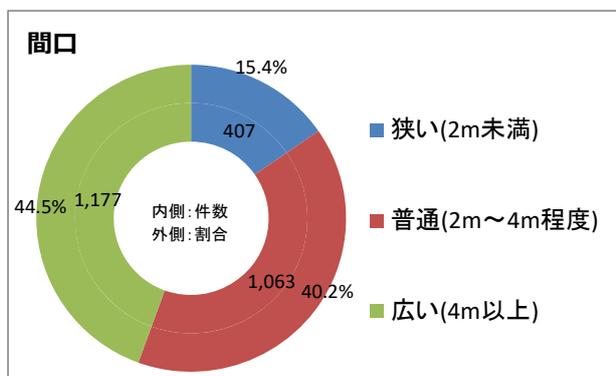




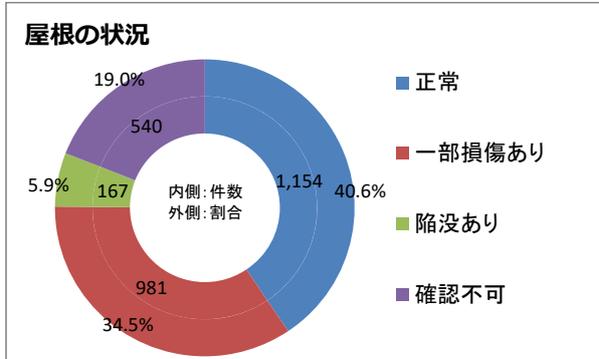
3 中山間地域と市内平地部を比較した特徴のある現地調査項目

中山間地

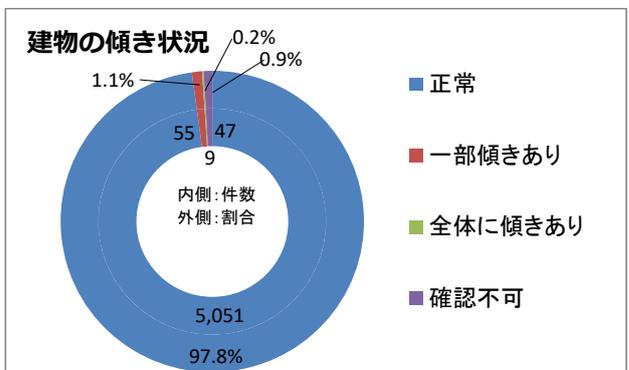
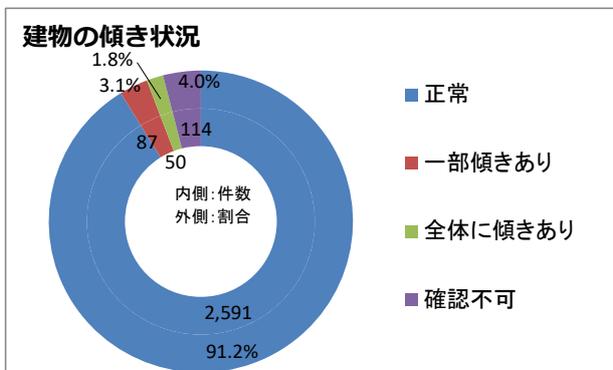
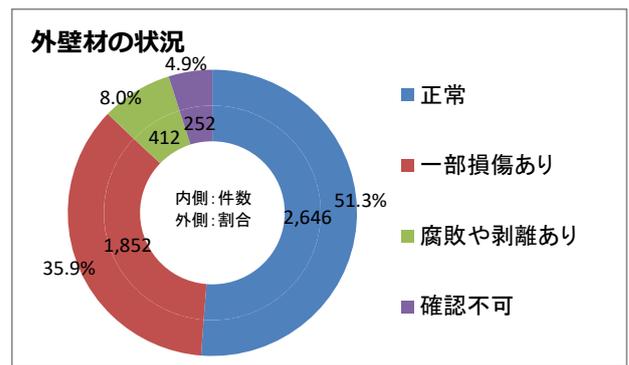
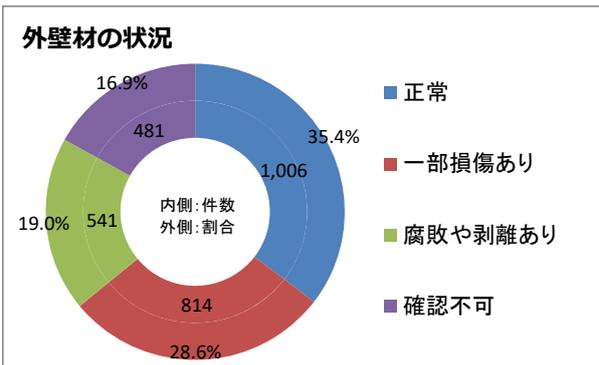
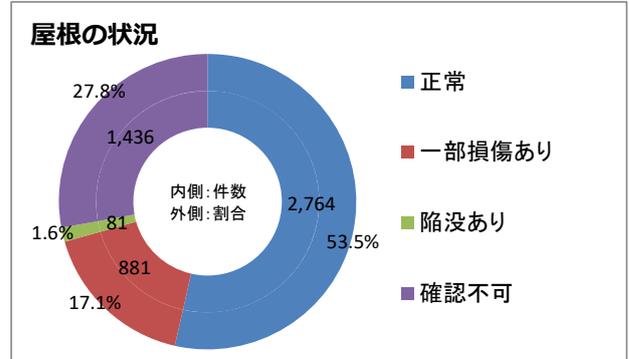
市内平地部



中山間地



市内平地部



II 空き家所有者の意向調査概要と調査結果

1 意向調査の概要

(1) 調査の目的

長野市空き家等対策計画の作成にあたり、空き家所有者の利活用や管理に関する現状や今後の意向を調査し、計画に反映させることを目的として実施しました。

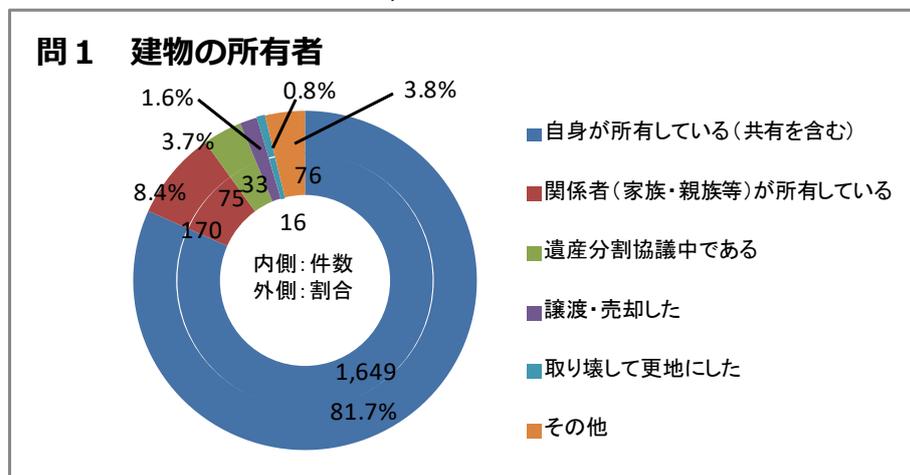
(2) 調査の概要

調査対象：空き家実態調査等から所有者が特定できた空き家の所有者等
調査方法：郵送による配布・回収
調査期間：平成29年4月12日～26日
配布数：3,084件
回収率：64.6% (1,993件)

2 調査結果（市内全域）

問1 上記建物等について、最もよく当てはまる番号に○をしてください

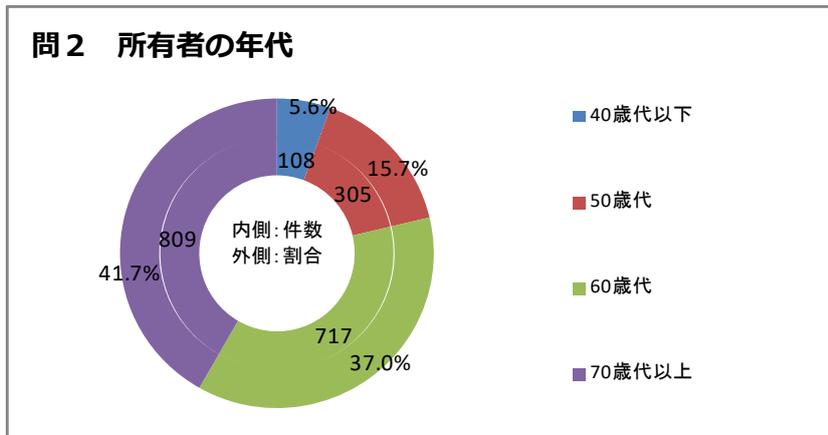
※合計件数： 2,019（複数回答あり）



所有者を確認したところ、関係者の所有（8.4%）、遺産分割協議中（3.7%）、譲渡・売却した（1.6%）と、約13%が本人以外の所有と回答しており、今後、空き家対策を講じていく際の所有者特定作業の重要性が示唆される。

問2 所有者（回答者）の年代について、当てはまる番号に○をしてください

※合計件数： 1,939 （複数回答あり）

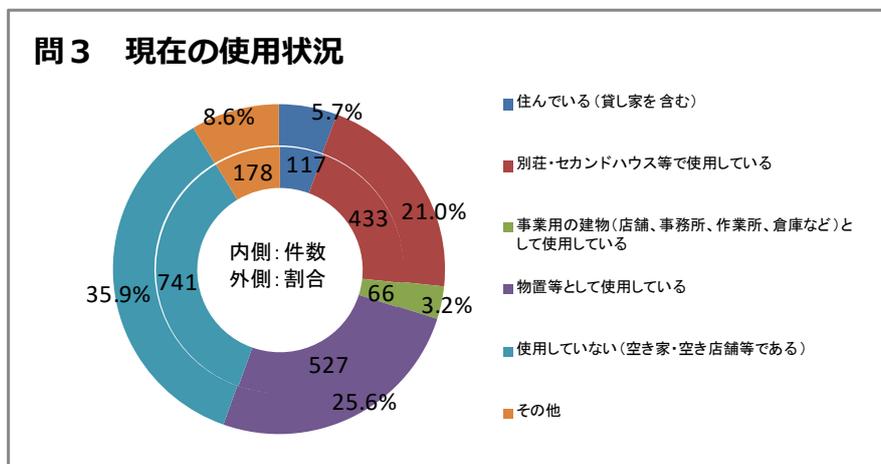


所有者の年齢を尋ねたところ、約8割が60歳代以上であった。

空き家の管理は、第一義的には所有者が行うべきものであり、空き家対策にあたっては、高齢の所有者をターゲットにした施策を講じていく必要があると考えられる。

問3 この建物の使用状況について、最もよく当てはまる番号に○をしてください

※合計件数： 2,062 （複数回答あり）

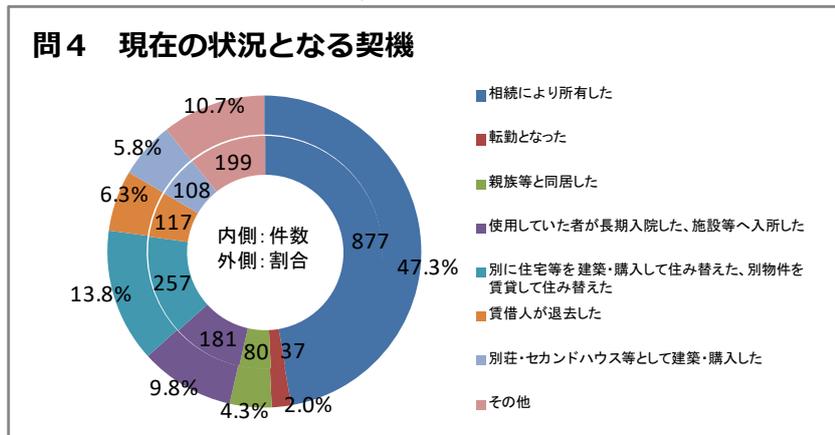


空き家と推定される建物について、現在の使用状況を確認したところ、35.9%について、使用していない（空き家・空き店舗）との回答があった。この建物については、空き家と確定したことになる。

一方、何らかの形で使用しているとの回答が55.5%あったが、そのうち、住んでいる（貸し家を含む）は5.7%であり、残りの建物（全体の約半数）については低利用の状態にあると考えられるので、今後の空き家化が懸念される。

問4 問3の使用状況となったきっかけについて、最もよく当てはまる番号に○をしてください

※合計件数： 1,856 (複数回答あり)

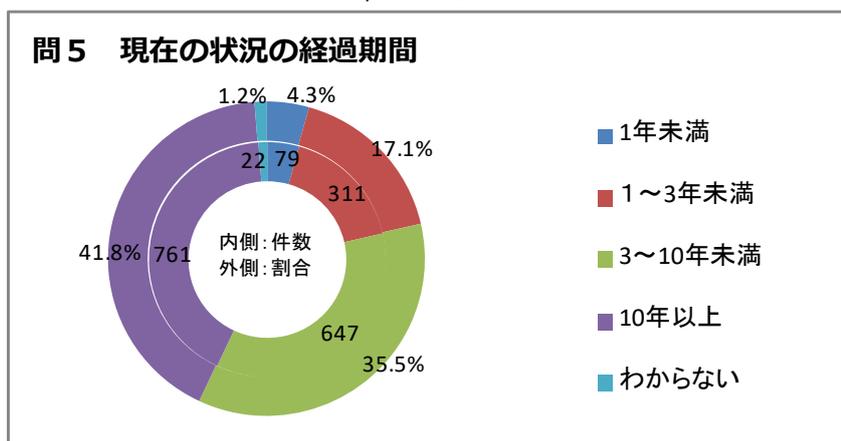


問3により、全体の約86%が低利用または空き家であったが、その状況に至ったきっかけを尋ねたところ、相続を契機になったとの回答が47.3%であった。

一般的に空き家化の大きな原因に相続があることが指摘されているが、当市においても同様の傾向がみられた。

問5 現在の使用状況になってどのくらい経っているか、最もよく当てはまる番号に○をしてください

※合計件数： 1,820 (複数回答あり)

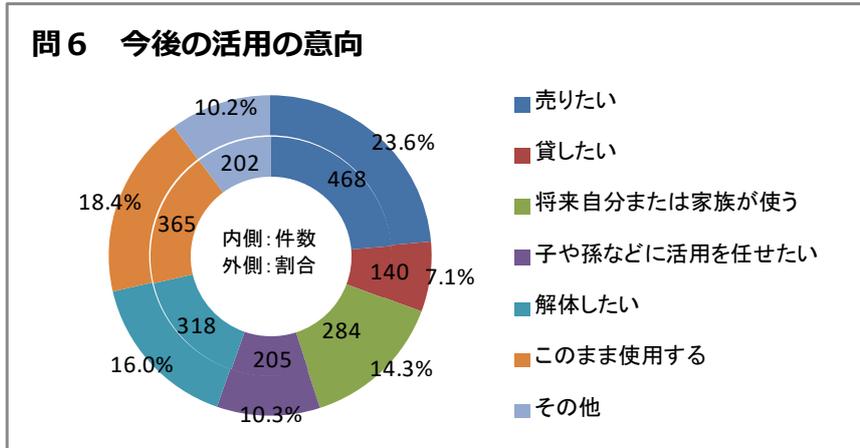


問3により、全体の約86%が低利用または空き家であったが、その状況になってからの経過期間を尋ねたところ、10年以上との回答が最も多く、41.8%となった。

空き家や低利用の長期化は、管理不全の状況に陥っていることが懸念されるうえ、ひいては利活用可能性にも影響を及ぼす可能性があるため、優先的な対策を図る必要があると考えられる。

問6 この建物の今後について、最もよく当てはまる番号に○をしてください

※合計件数： 1,982 (複数回答あり)



対象建物について、今後の活用の意向を尋ねたところ、売りたい、貸したいと利活用に前向きな回答が約3割あった。

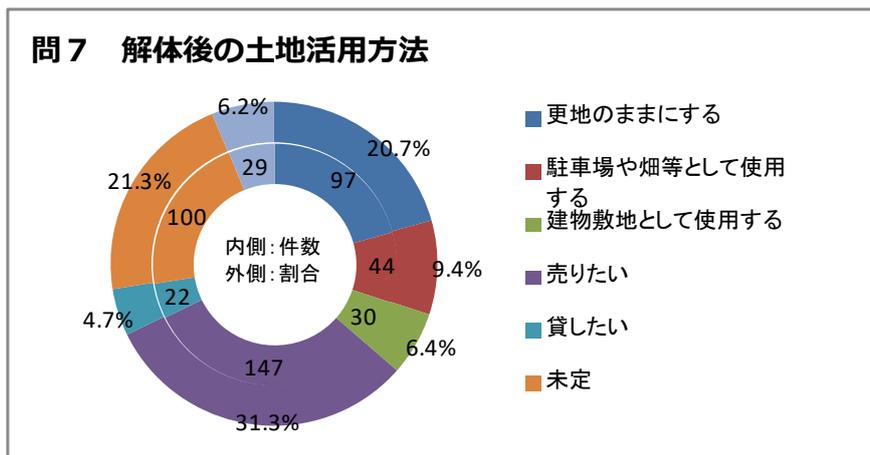
また、解体したいとの回答が16.0%あったが、これは、解体したいのに解体していないということが示唆される。

解体が進まない理由として、問8でもみられるとおり、家財の整理や、解体費用の捻出の問題、固定資産税の増額等が指摘される。

(問6で5. とお答えの方のみお答えください)

問7 建物解体後の土地について、最もよく当てはまる番号に○をしてください

※合計件数： 469



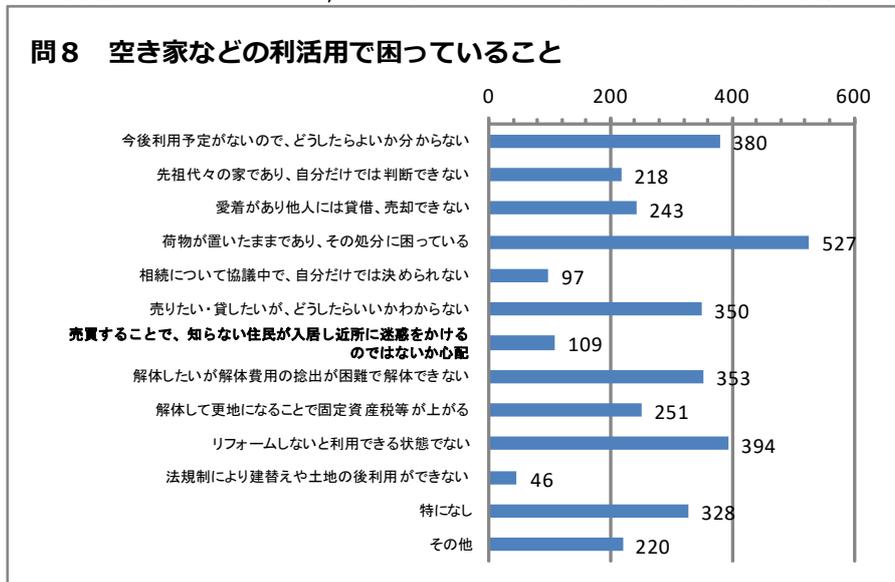
解体後の活用方法としては、売りたいとの回答が最も多く31.3%となった。

このことから、解体後の更地の流通促進が、解体を促進する動機になるとも考えられる。

問8 長野市では空き家などの利活用に関するサポートを検討しています。

その関係で、この建物について困っていることについて、当てはまる番号に○をしてください（複数回答可）

※合計件数： 3,516（複数回答、回答数は選択肢の単純合計）

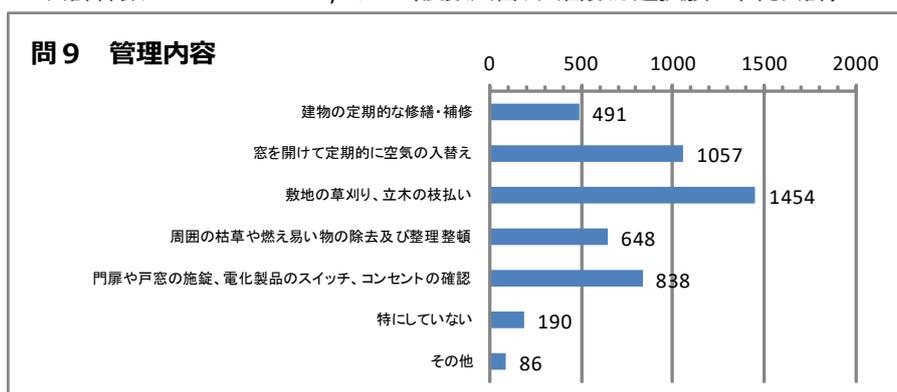


空き家などの利活用で困っていることとして、家財の整理（527件）が最も多く、次いで、リフォームの必要性（394件）、利用予定がない（380件）、解体費用の捻出（353件）、特になし（324件）、解体時の固定資産税の増加（251件）と続いている。

これら困りごとをなくす方向性での空き家対策を講じていくことも効果的と考えられる。

問9 建物（敷地含む）の管理としてどのようなことを行っているか、当てはまる番号に○をしてください（複数回答可）

※合計件数： 4,764（複数回答、回答数は選択肢の単純合計）

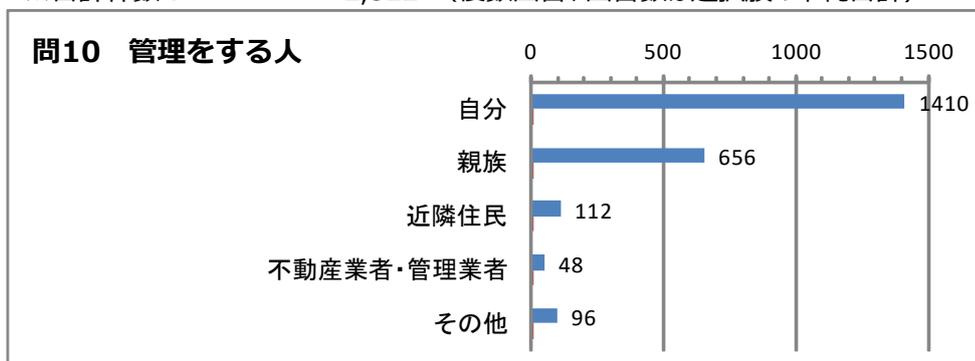


管理内容について尋ねたところ、最も多かったのは草刈り・枝払いで1,454件、次いで空気の入換えが1,057件、スイッチ・コンセントの確認が838件と続いている。

回答者数1,814人のうち、スイッチ・コンセントの確認、燃えやすい物の除去・整備、定期的な修繕補修は半数を下回っており、今後、管理水準の向上を促進していく必要があると考えられる。

問10 問9の管理はどなたが主に行っているか、当てはまる番号に○をしてください（複数回答可）

※合計件数： 2,322（複数回答、回答数は選択肢の単純合計）

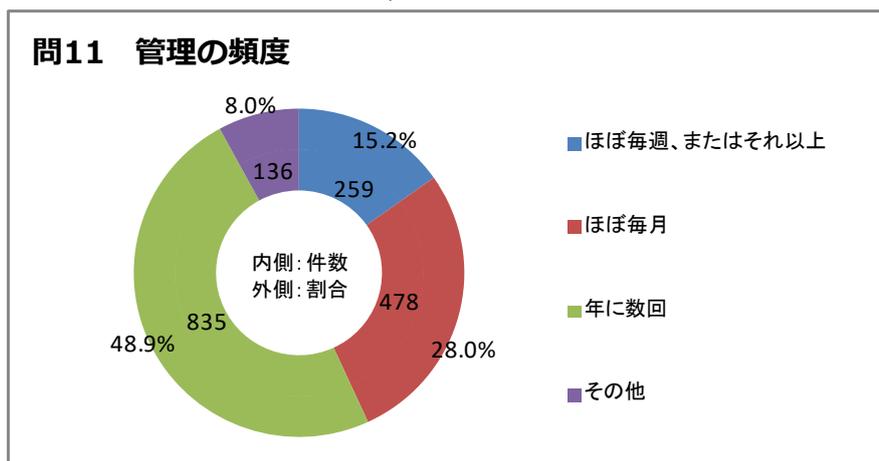


管理主体について尋ねたところ、自分で管理しているとの回答が最も多く、親族、近隣住民、業者と続いている。

空き家管理として、地域による管理や業者による管理も注目を集めているが、今のところ大きな浸透はみられず、今後、周知・促進していくべき課題と考えられる。

問11 問9の管理の頻度について、最もよく当てはまる番号に○をしてください

※合計件数： 1,708

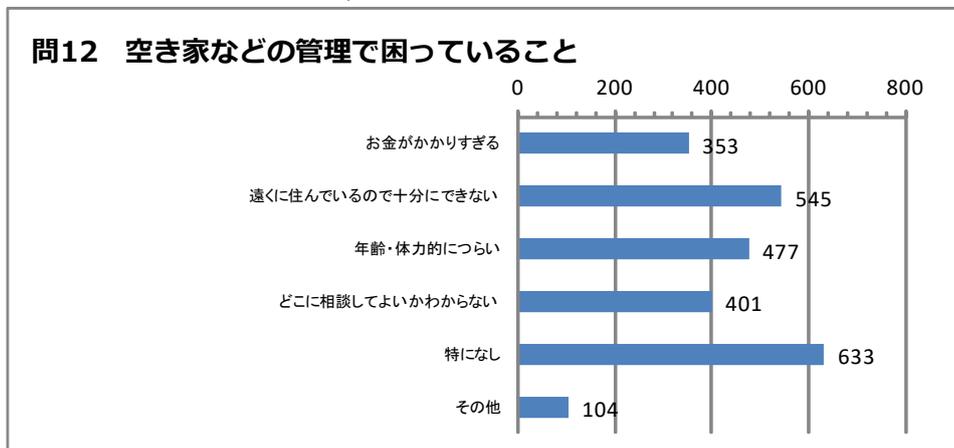


管理頻度を尋ねたところ、年に数回程度の管理との回答が約半数あり、管理水準の向上が課題と言える。

問12 長野市では空き家などの管理に関するサポートを検討しています。

建物の管理について困っていることはありますか、当てはまる番号に○をしてください（複数回答可）

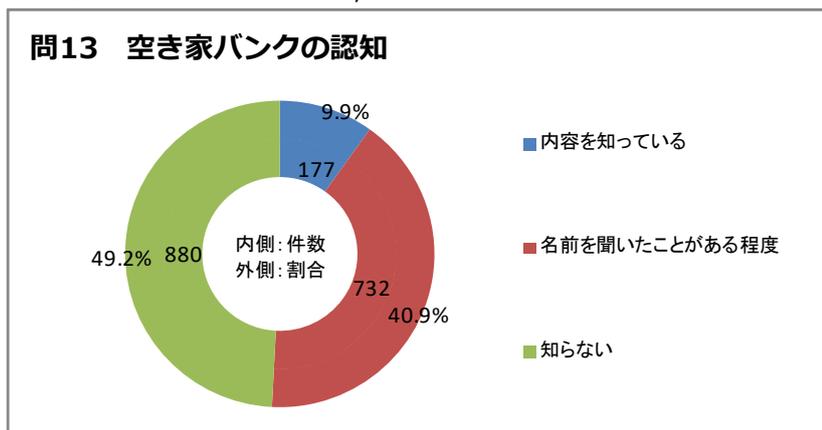
※合計件数： 2,513（複数回答、回答数は選択肢の単純合計）



管理について、困っていることを尋ねたところ、特になしが最も多く、遠方に住んでいる、年齢・体力的な課題、相談先、金銭面と続いている。
金銭面より体力・技術面での困りごとが多いことが特徴的である。

問13 長野市の空き家バンク制度（パンフレット参照）について、最もよく当てはまる番号に○をしてください

※合計件数： 1,789

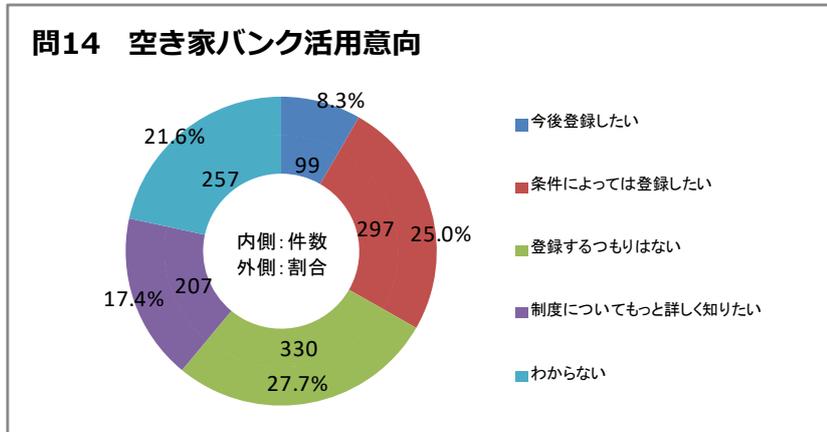


空き家バンクの認知度について尋ねたところ、約半数の所有者が知らないと回答している。
今後、空き家バンクのさらなる周知の必要性が示唆されるとともに、周知していくことにより空き家バンクの利用拡大が期待される。

(問6で1.又は2.とお答えの方のみお答えください)

問14 今後、「空き家バンク」の活用についてどのようにお考えか、最もよく当てはまる番号に○をしてください

※合計件数： 1,190



空き家バンクの活用意向について尋ねたところ、今後登録したい、条件によっては登録したい、と登録に前向きな回答が約3分の1あり、空き家バンクの登録の拡大が期待される。

また、制度についてもっと詳しく知りたいとの回答が17.4%あったことから、空き家バンクのさらなる周知を行うことによる利用の拡大も期待される。

【自由意見】

- ・売却がしやすくなるよう、市街化調整区域の規制を緩和されることを強く望む。
- ・市街地で接道が無く、再建築できない。
- ・所有者4名が亡くなり、どうしたらよいかわからない。
- ・とにかく早く売りたい。固定資産税の負担や今後の予定が立たず困っている。売却する方法を知りたい。
- ・名義変更はどこですればいいか知りたい。
- ・相談に行きたいが土日しか休みがない。
- ・物置きなので空き家という認識はない。
- ・空き家バンクに登録したが、山間部で売却が難しい。郊外の土地売買の経験豊富な業者を教えてください。
- ・不動産業者に頼んだが売れなかった。解体費用がない。どうしたらいいか？
- ・場所が悪くて、手のつけようがない。
- ・家財の処分や屋根の修繕をしたい。好事例を参考に改善したい。
- ・家財の処分や、管理している業者を教えてください。
- ・解体したいが裁判所からSTOPがかかりできず。所有者の成年後見人が管理している。
- ・修理を行ったので今後活用を検討したい。空き家バンク活用も検討したい。

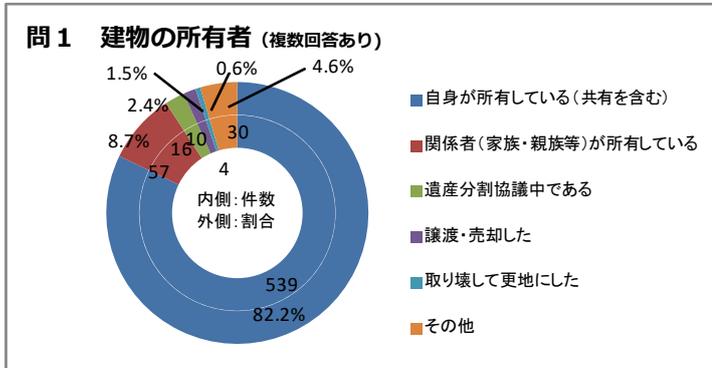
3 空き家所有者の意向調査結果（中山間地・市内平地部）集計表

中山間地（意向調査回収数 649）

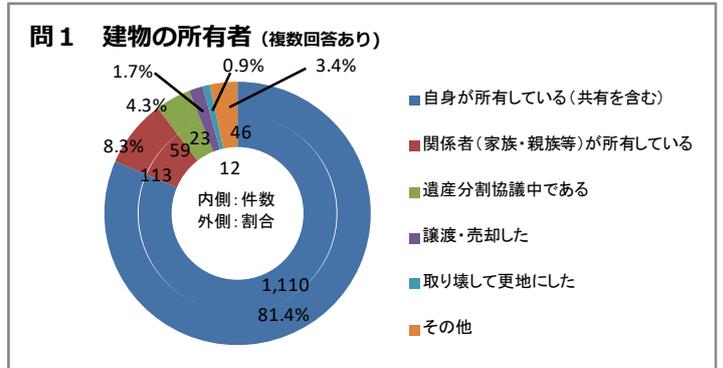
市内平地部（意向調査回収数 1,344）

問1 上記建物等について最もよく当てはまる番号に○をしてください

※合計件数： 656（複数回答あり）

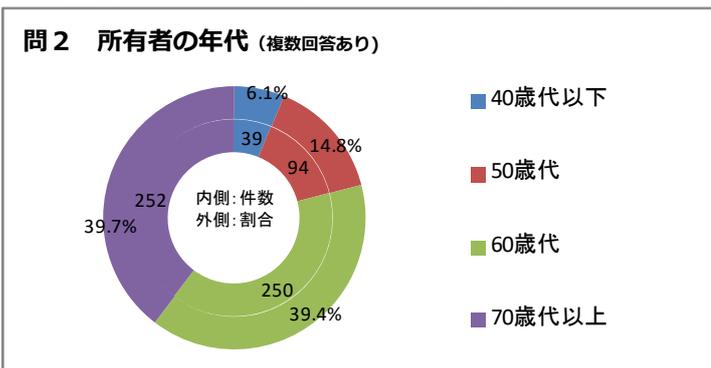


※合計件数： 1,363（複数回答あり）

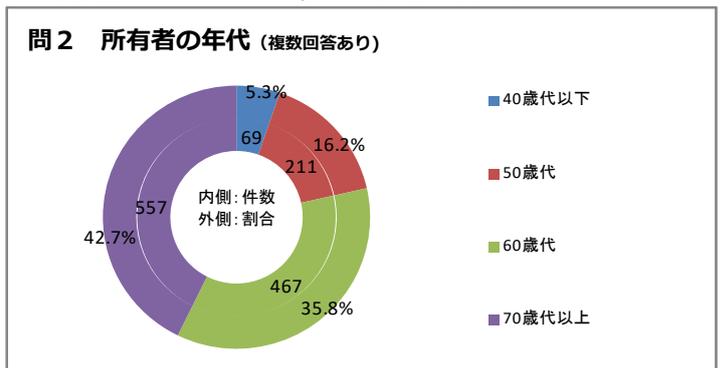


問2 所有者（回答者）の年代について、当てはまる番号に○をしてください

※合計件数： 635（複数回答あり）

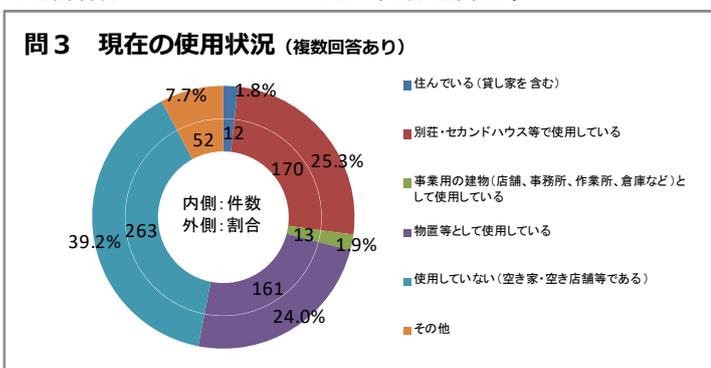


※合計件数： 1,304（複数回答あり）

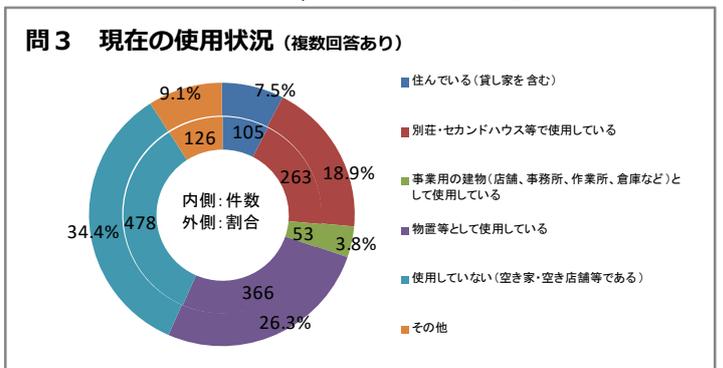


問3 この建物の使用状況について、最もよく当てはまる番号に○をしてください

※合計件数： 671（複数回答あり）



※合計件数： 1,391（複数回答あり）



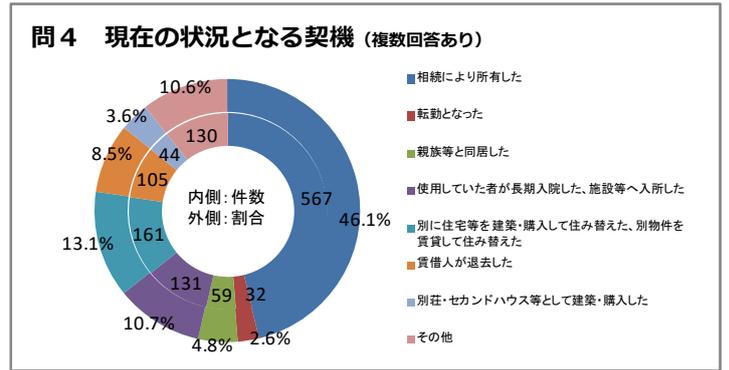
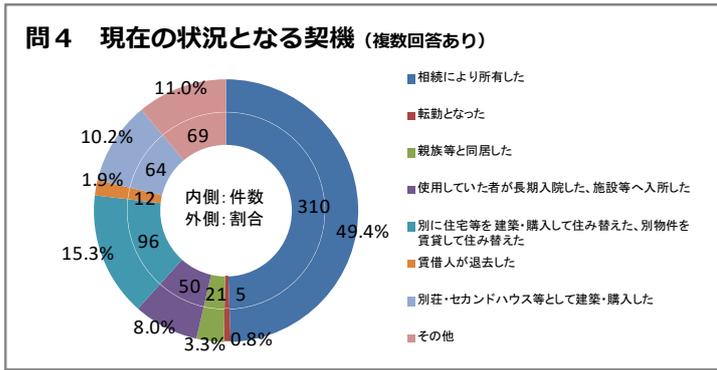
中山間地

市内平地部

問4 問3の使用状況となったきっかけについて、最もよく当てはまる番号に○をしてください

※合計件数： 627 (複数回答あり)

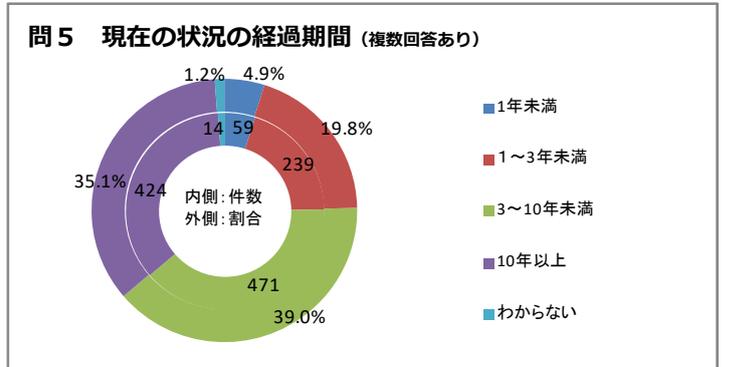
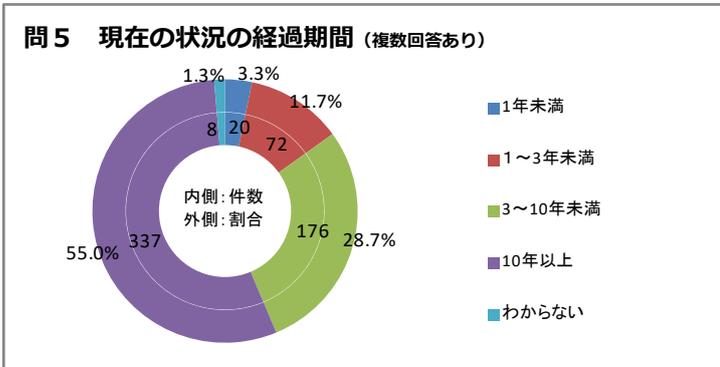
※合計件数： 1,229 (複数回答あり)



問5 現在の使用状況になってどのくらい経っているか、最もよく当てはまる番号に○をしてください

※合計件数： 613 (複数回答あり)

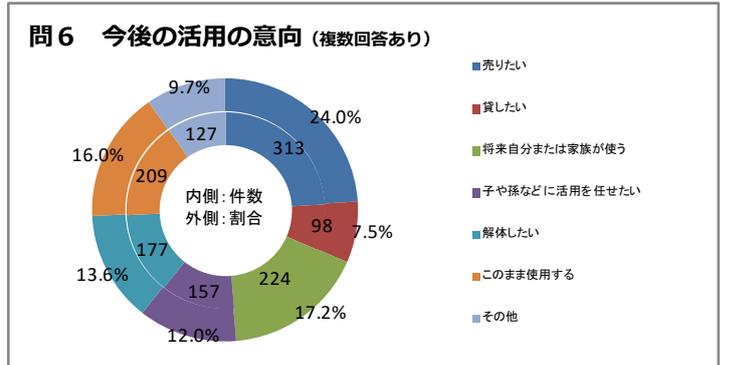
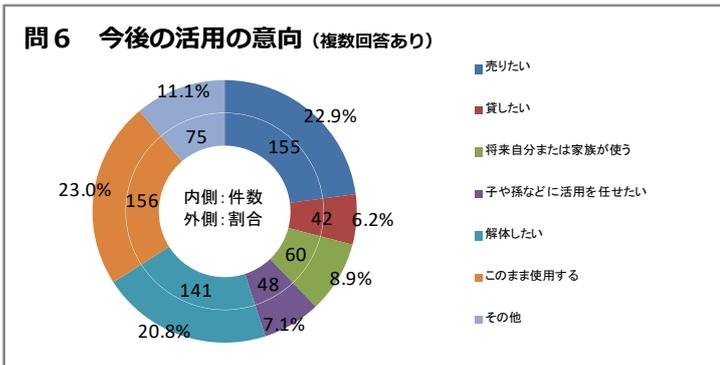
※合計件数： 1,207 (複数回答あり)



問6 この建物の今後について、最もよく当てはまる番号に○をしてください

※合計件数： 677 (複数回答あり)

※合計件数： 1,305 (複数回答あり)

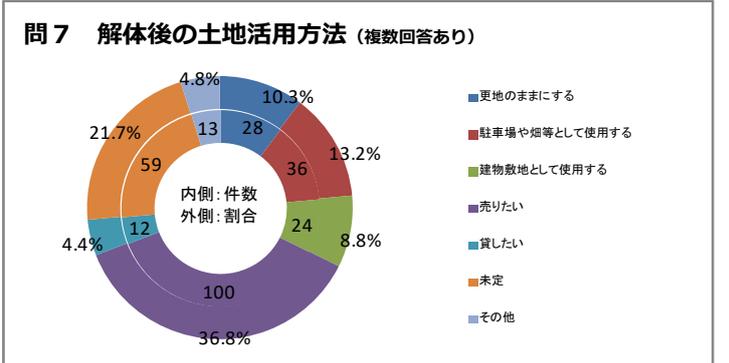
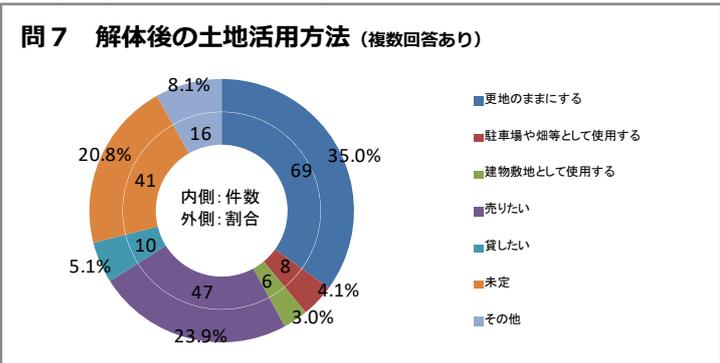


(問6で5. とお答えした方のみお答えください)

問7 建物解体後の土地について、最もよく当てはまる番号に○をしてください

※合計件数： 197

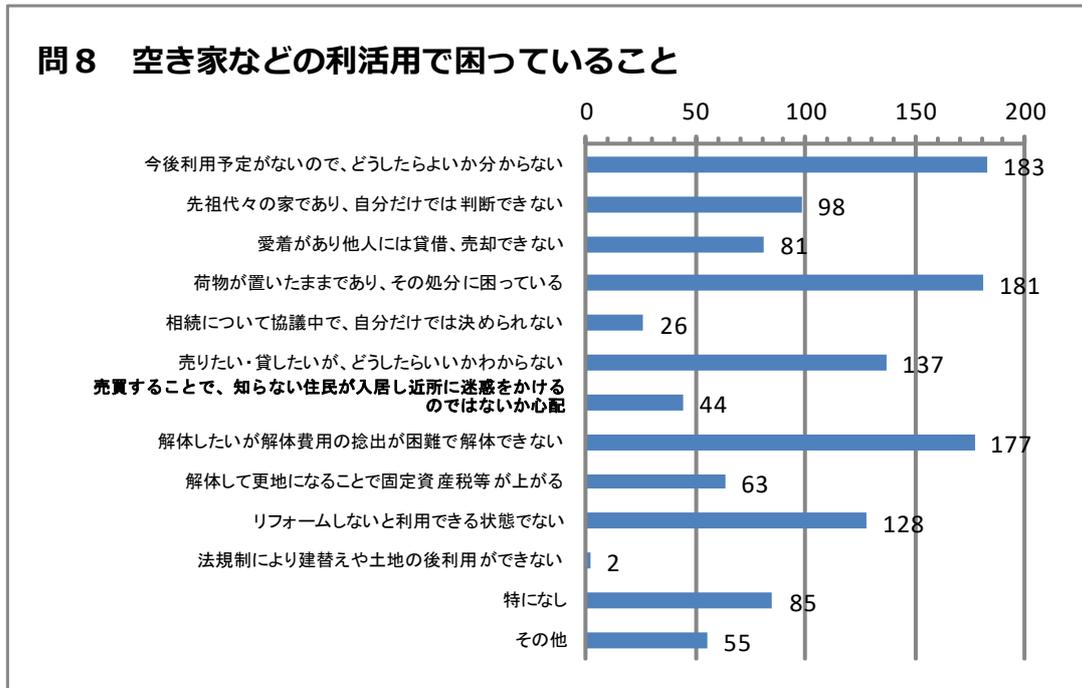
※合計件数： 272



問8 長野市では空き家などの利活用に関するサポートを検討しています。その関係で、この建物について困っていることについて、当てはまる番号に○をしてください。（複数回答可）

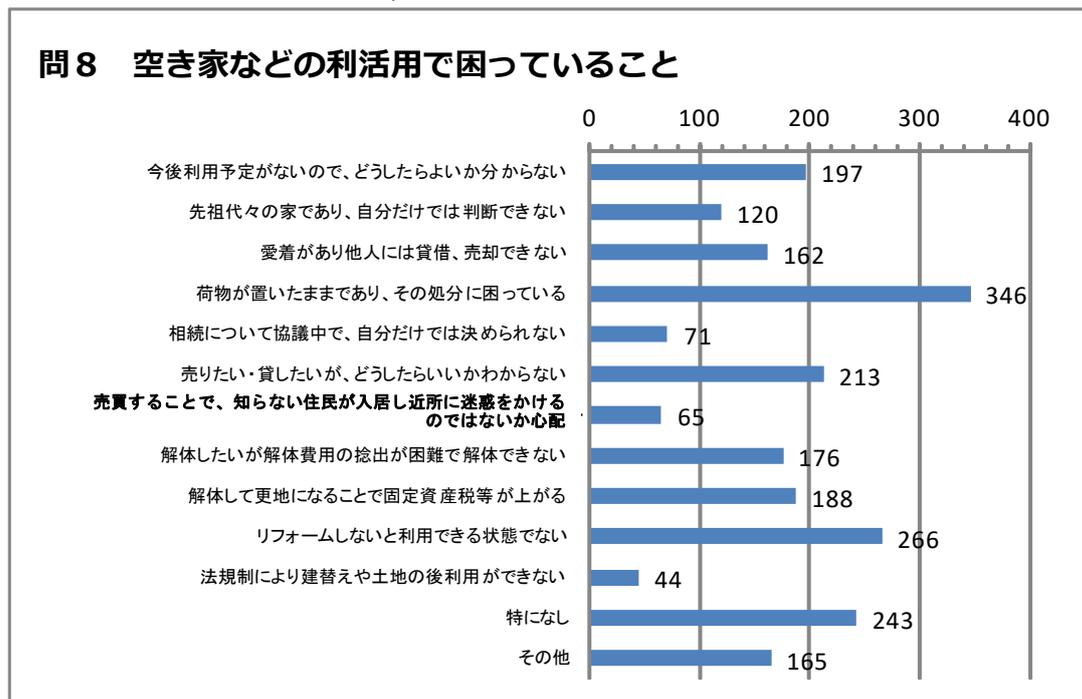
中山間地

※合計件数： 1,260 （複数回答、回答数は選択肢の単純合計）



市内平地部

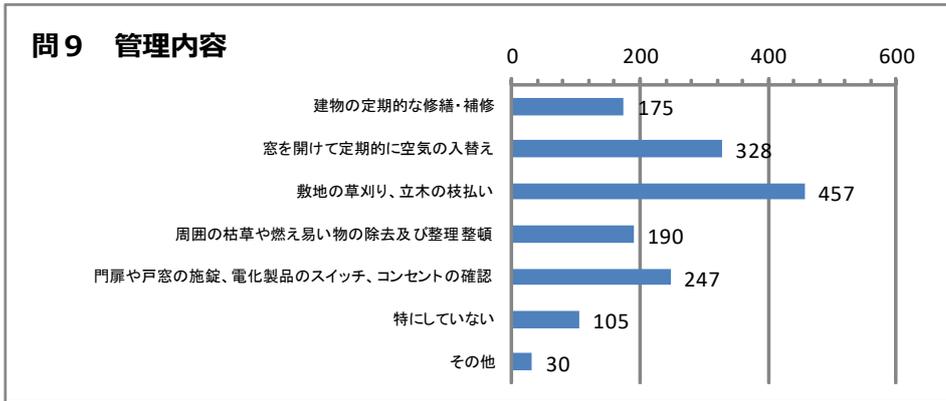
※合計件数： 2,256 （複数回答、回答数は選択肢の単純合計）



問9 建物（敷地を含む）の管理としてどのようなことを行っているか、当てはまる番号に○をしてください。（複数回答可）

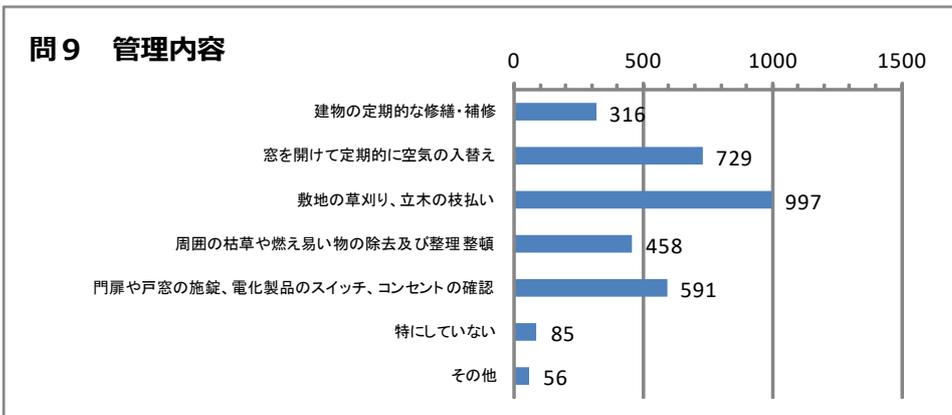
中山間地

※合計件数： 1,532 （複数回答、回答数は選択肢の単純合計）



市内平地部

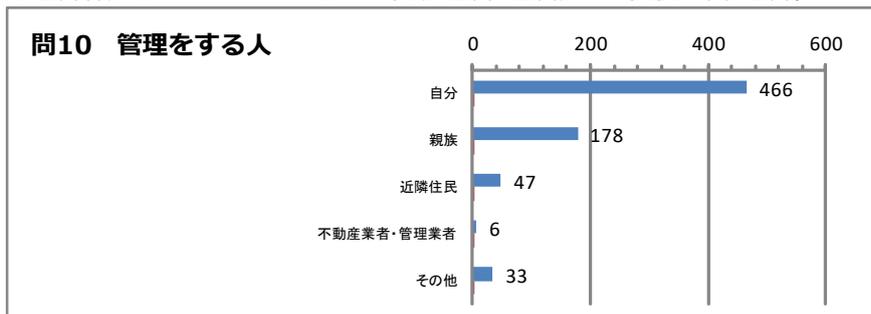
※合計件数： 3,232 （複数回答、回答数は選択肢の単純合計）



問10 問9の管理はどなたが主に行っているか、当てはまる番号に○をしてください。（複数回答可）

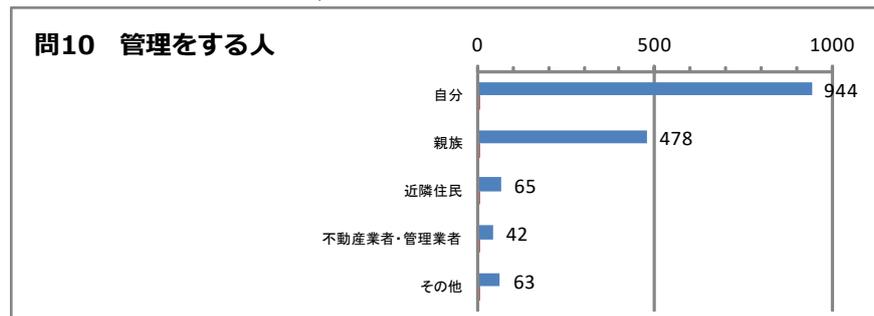
中山間地

※合計件数： 730 （複数回答、回答数は選択肢の単純合計）



市内平地部

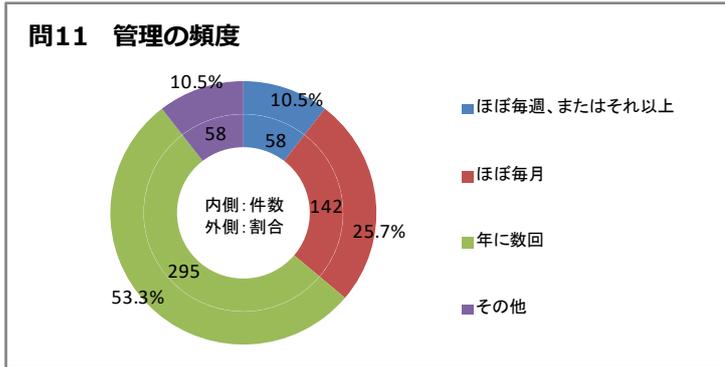
※合計件数： 1,592 （複数回答、回答数は選択肢の単純合計）



中山間地

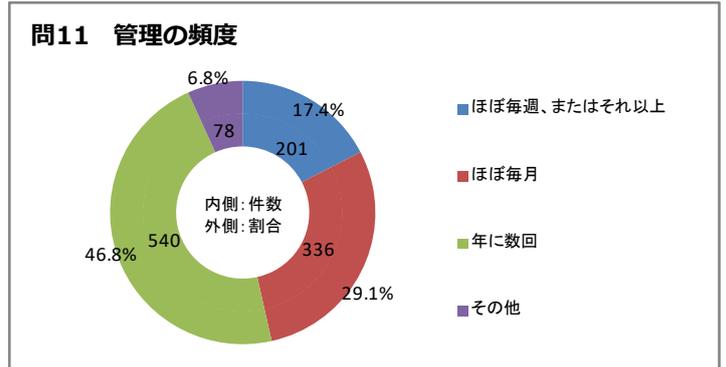
問11 問9の管理の頻度について、最もよく当てはまる番号に○をしてください。

※合計件数： 553



市内平地部

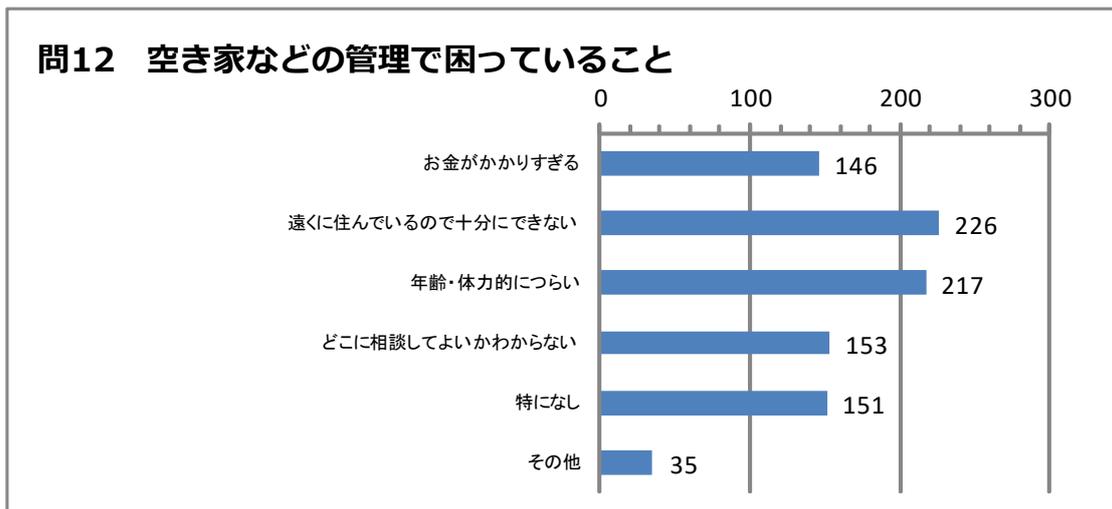
※合計件数： 1,155



問12 長野市では空き家などの管理などの関するサポートを検討しています。建物管理について、困っていることについて、当てはまる番号に○をしてください。（複数回答可）

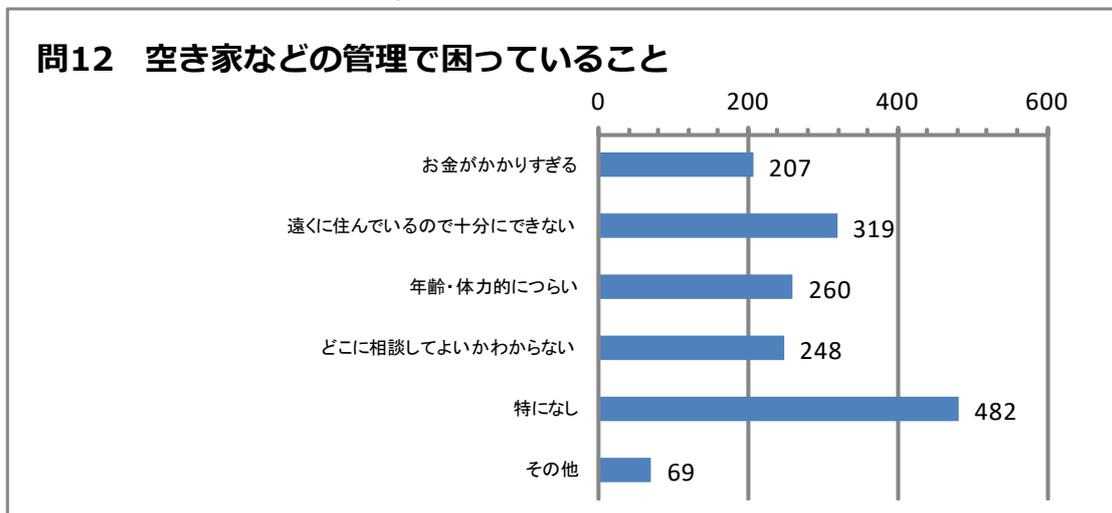
中山間地

※合計件数： 928 （複数回答、回答数は選択肢の単純合計）



市内平地部

※合計件数： 1,585 （複数回答、回答数は選択肢の単純合計）

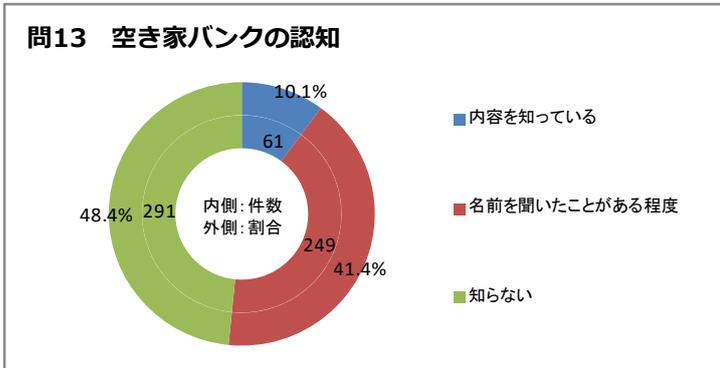


中山間地

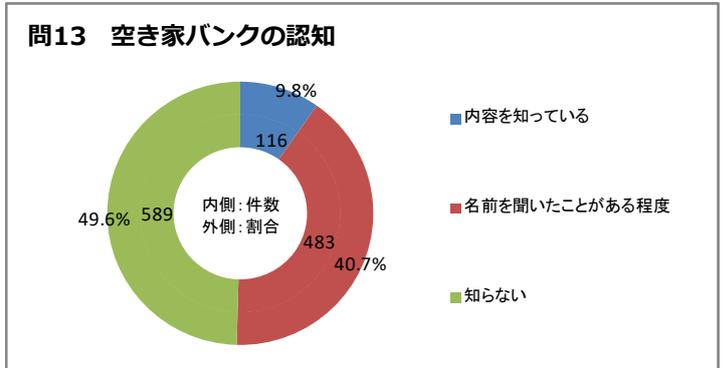
市内平地部

問13 長野市空き家バンク制度（パンフレット参照）について、最もよく当てはまる番号に○をしてください。

※合計件数： 601



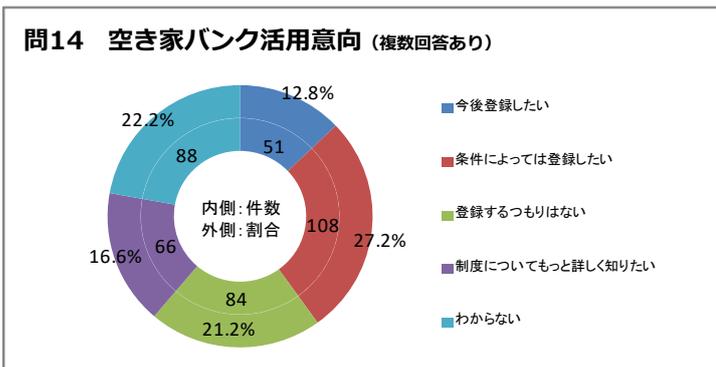
※合計件数： 1,188



(問6で1. 又は2. とお答えした方のみお答えください)

問14 今後「空き家バンク」の活用についてどのようにお考えか、最もよく当てはまる番号に○をしてください。

※合計件数： 397



※合計件数： 793

